U/Cサーバ 10.6.0
インストールマニュアル

株式会社 広告EDIセンター

注意事項

- 本書を無断で他に転載しないようお願いします。
- 本書は、予告なしに変更する場合があります。
- 本書の内容に不備がある場合は、ご連絡ください。

本書に掲載されている製品およびサービス等の名称は、各社の商標または登録商標です。

変更履歴

版	更新日	変更内容
1	2025/09/24	新規作成
2	2025/10/14	2.1.3. イベントソースの作成 イベントソース作成時の補足事項を追加 2.1.4. U/Cサーバの起動設定 表2-3の「引数の追加(オプション)」の設定値を一部修正
3	2026/02/17	1. はじめに 広告EDIセンターのホームページのURLを更新 1.3.2. ソフトウェア 動作環境OSに「Windows Server 2025 Standard」「Windows Server 2025 Datacenter」を追加 2.1.5. アプリケーションの関連付け 選択するアプリをワードパッドからメモ帳に変更

1. はじめに 5
1.1. セットアップ内容に適したマニュアルについて 5
1.2. 名称について 5
1.3. U/Cサーバの動作環境について 6
1.3.1. ハードウェア 6
1.3.2. ソフトウェア 6
1.3.3. ネットワーク 6
1.3.4. 動作条件 6
1.4. インストーラについて 7
2. U/Cサーバのインストール 8
2.1. インストール手順 8
2.1.1. インストーラの実行 8
2.1.2. データベースの初期データ登録 21
2.1.3. イベントソースの作成 22
2.1.4. U/Cサーバの起動設定 25
2.1.5. アプリケーションの関連付け 30
2.1.6. OSの再起動（U/Cサーバの起動） 31
2.2. その他設定手順 32
2.2.1. ポートの使用許可設定（Windowsファイアウォール） 32
2.2.2. SystemManager、TaskManagerの別端末へのインストール 32
3. U/Cサーバのアンインストール 33
3.1. アンインストール手順 33
3.1.1. SystemManagerのアンインストール 33
3.1.2. TaskManagerのアンインストール 33
3.1.3. PostgreSQLのアンインストール 34
3.1.4. 広告EDI UCSのアンインストール 35
3.1.5. システム環境変数の削除 37
3.1.6. U/Cサーバの起動設定の削除 37
3.1.7. データベースのデータの削除 37
3.1.8. U/Cインストールフォルダの削除 37
3.1.9. ポートの使用許可設定（Windowsファイアウォール）の削除 37
付録A. Windowsファイアウォール設定手順 39

1.　はじめに

本書は、「U/Cサーバ 10.6.0 （以下、U/Cサーバ）」のインストール手順、アンインストール手順、環境設定方法について記述したものです。広告EDIセンターHP（https://ad-edi.com/service/edi/newuc-10.html）より、最新版のインストーラをダウンロードし、インストールしてください。

1.1. セットアップ内容に適したマニュアルについて

U/Cサーバのインストール、バージョンアップ、サーバ移行のうち、目的のセットアップ内容に沿った適切なマニュアルを参照してください。本書は以下のうち1つ目に該当します。

➢ 新規にU/Cサーバをインストール

Windows Serverに新しくU/Cサーバをインストールする場合、本書を参照してください。

➢ 既存のU/Cサーバをバージョンアップ

過去のバージョンのU/CサーバがインストールされているWindows Serverにおいて、最新のU/Cサーバへバージョンアップする場合、別紙「U/Cサーバ 10.6.0 バージョンアップマニュアル」を参照してください。

登録されているデータを保持した状態で、U/Cサーバのアプリケーションのバージョンアップを行います。

➢ 既存のU/Cサーバを元に新規U/Cサーバへ移行

U/Cサーバがインストールされているwindows Serverを所有している状態で、別のWindows Serverを用意してそちらに最新のU/Cサーバを構築する場合、別紙「U/Cサーバ サーバ移行マニュアル」を参照してください。

既存のU/Cサーバに登録されている情報を、新たに構築するU/Cサーバへ移行します。既存のU/Cサーバと新たに構築するU/Cサーバのバージョンが異なる場合でも移行可能です。

1.2. 名称について

本書において使用する名称は以下の通りです。

- PostgreSQL
  U/Cサーバが使用するデータベースアプリケーションです。

- Adobe AIR
  SystemManagerとTaskManagerを実行するためのランタイムライブラリです。

- SystemManager
  広告取引EDIシステムと通信するための設定等を表示・入力するクライアント画面です。

- TaskManager
  データ交換を行うためのスケジュール登録などを行うクライアント画面です。

- UCController
  U/Cサーバ全体を管理する機能です。

- ScheduleController
  U/Cサーバのスケジュール起動を管理する機能です。

1.3. U/Cサーバの動作環境について

U/Cサーバの動作環境は以下の通りです。

1.3.1. ハードウェア

表 1-1 U/Cサーバ動作環境（ハードウェア）

環境	条件
CPU	2コア以上推奨
メモリ	2GB以上推奨
ハードディスク	U/Cサーバインストール時に必要なディスク容量 約1,600MB

1.3.2. ソフトウェア

表 1-2 U/Cサーバ動作環境（ソフトウェア）

環境	条件
OS	Windows Server 2016 Standard Windows Server 2019 Standard、Datacenter Windows Server 2022 Standard、Datacenter Windows Server 2025 Standard、Datacenter ※動作保証の対象は、64bit版のWindows Serverのみとなります。
ミドルウェア	Adobe AIR ランタイム ※HARMAN社から無償配布されています。 ※下記URLより「AIR runtime」の最新版をダウンロードし、インストールしてください。 https://airsdk.harman.com/runtime Windows PowerShell ※サポート対象OSに標準搭載されており、追加インストールなしで利用可能です。

1.3.3. ネットワーク

以下いずれかのネットワーク環境が整っている必要があります。

表 1-3 U/Cサーバ動作環境（ネットワーク）

環境	備考
インターネット接続（TLS接続）	お客様環境に依存するため、詳細はお客様社内ネットワークのご担当者様にご確認ください。
統合型セキュアネットワークサービス （旧サービス名：DCAN）	ご利用にあたっては別途料金が発生します。 詳細は広告取引EDIサポートデスクまでお問い合わせください。

1.3.4. 動作条件

U/Cサーバの動作条件は以下の通りです。

- 動作環境のOSおよびミドルウェアが正常に動作していること
- ネットワーク設定が行われており、通信ができる状態であること

1.4. インストーラについて

U/Cサーバのインストーラ（UCS_ver10.6.0_setup.exe）は、初期インストールとバージョンアップのどちらにも対応することができます。インストーラを実行すると、以下の条件に従って、自動的に該当する処理の開始画面が表示されます。

- 初期インストール
  U/Cサーバ 10.0.0 以降のバージョンがインストールされていないこと
- バージョンアップ
  U/Cサーバ 10.5.0 以降のバージョンをインストール済みであること

2.　U/Cサーバのインストール

本章ではU/Cサーバのインストール手順を説明します。
インストールは次の順番で実施します。

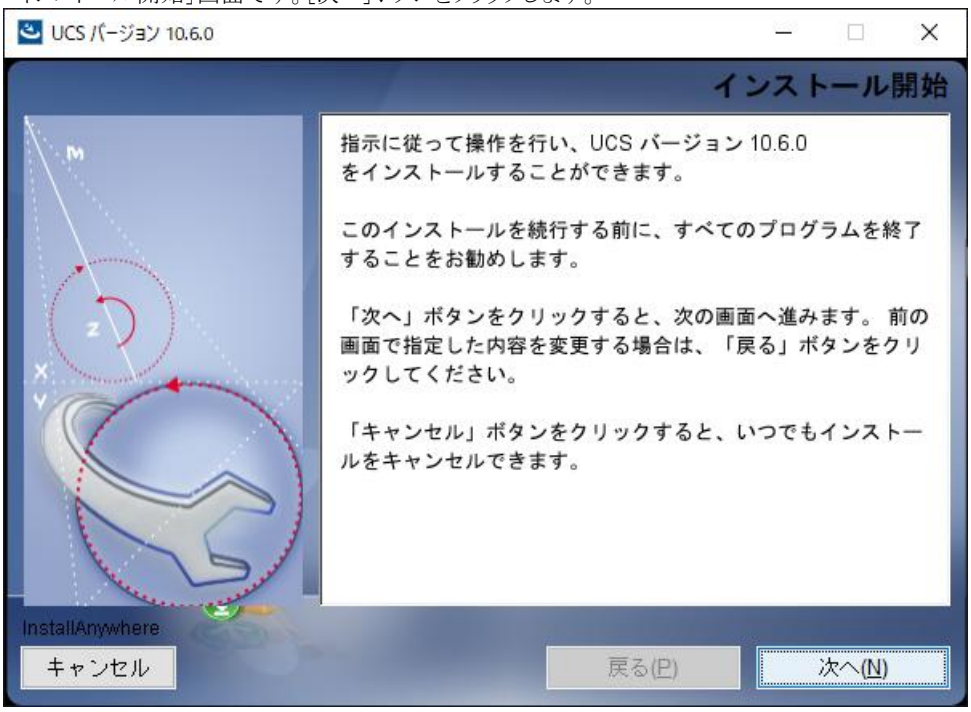
1. インストーラの実行
   - 広告EDI UCSのインストール
   - PostgreSQLのインストール
   - SystemManagerのインストール
   - TaskManagerのインストール
2. データベースの初期データ登録
3. イベントソースの作成
4. U/Cサーバの起動設定
5. アプリケーションの関連付け
6. OSの再起動（U/Cサーバの起動）

2.1. インストール手順

2.1.1.　　インストーラの実行

◆インストーラ（UCS_ver10.6.0_setup.exe）をダブルクリックして実行します。
「言語選択」画面が表示されるので、変更せずに[OK]ボタンをクリックします。

◆「インストール開始」画面です。[次へ]ボタンをクリックします。



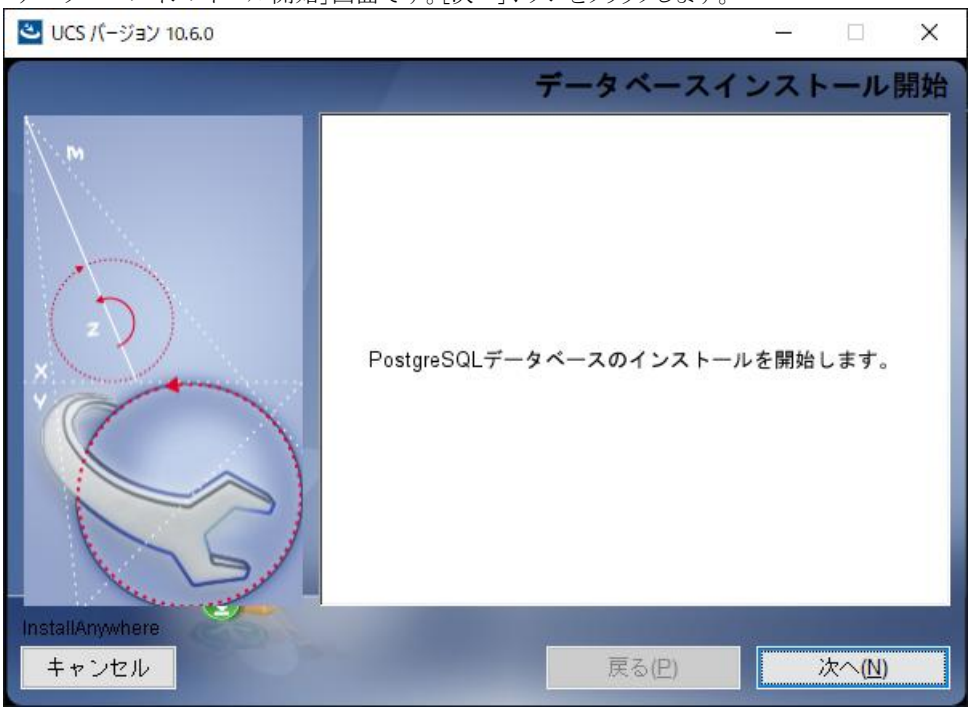
◆「インストールフォルダの選択」画面です。インストール場所を選択し、[次へ]ボタンをクリックします。
※インストール先の初期値は「C:¥Adedi」です。

◆「インストール前の要約」画面です。インストールフォルダに問題がないことを確認してください。
問題がなければ、[インストール]ボタンをクリックし、インストールを実行します。

◆「広告EDI UCSのインストール」画面です。U/Cサーバをインストールしている画面です。
インストールが完了すると、自動的に「データベースインストール開始」画面へ進みます。

※広告EDI UCSのインストールが完了すると、以降の手順で「キャンセル」を選択した場合でも、U/Cサーバのアプリケーションはアンインストールされません。
アンインストールが必要な場合は「3. U/Cサーバのアンインストール」を参照し削除してください。

◆「データベースインストール開始」画面です。[次へ]ボタンをクリックします。

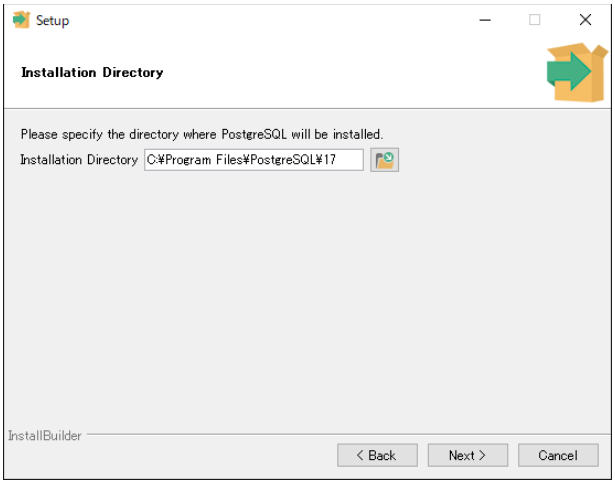


◆「PostgreSQLのインストール」画面が新規に立ち上がります。

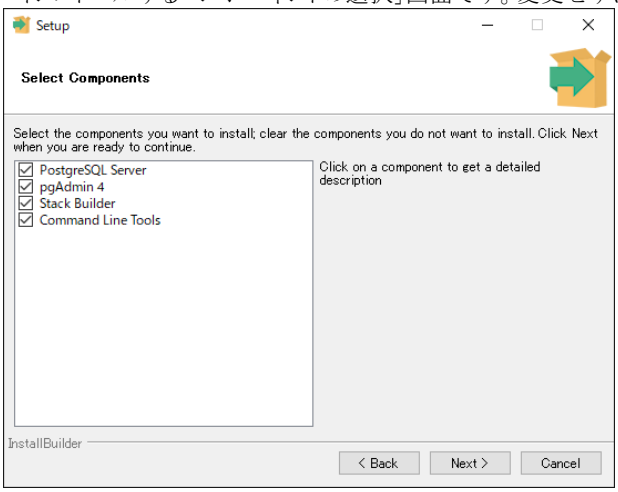
[Next >]ボタンをクリックし、PostgreSQLのインストールに進みます。

※PostgreSQLのインストールが完了するまで、U/Cサーバのインストーラの操作は行えません。

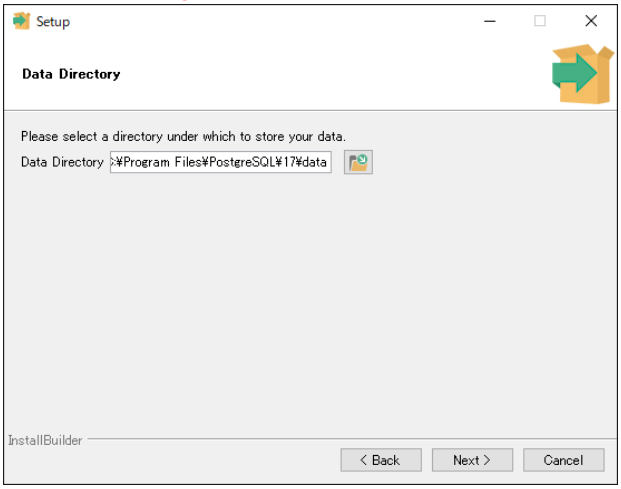
◆「PostgreSQLのインストール先選択」画面です。インストール先を選択し[Next >]ボタンをクリックします。
※インストール先はドライブのみ変更可能です。



◆「インストールするコンポーネントの選択」画面です。変更せずに[Next >]ボタンをクリックします。

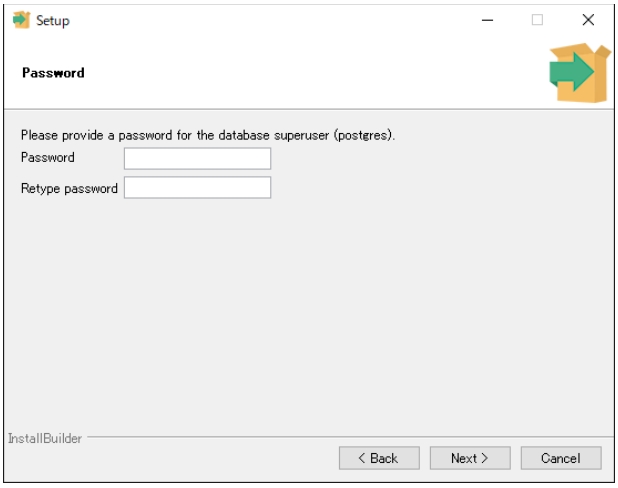


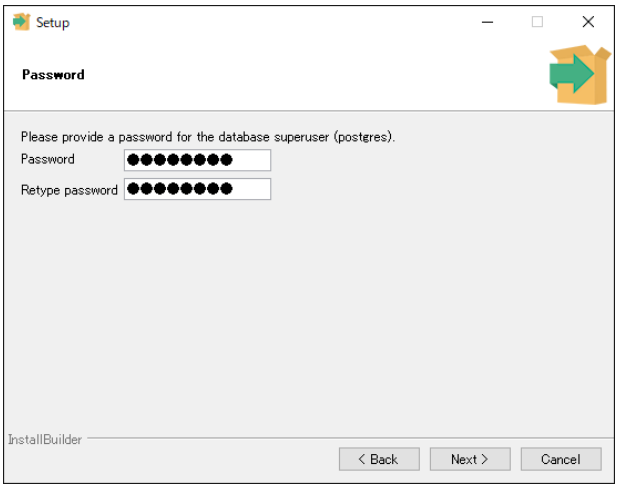
◆「データベース情報保管先選択」画面です。保管先を選択し[Next >]ボタンをクリックします。
※保管先は「PostgreSQLのインストール先と同じフォルダパス¥data」を指定してください。



◆「パスワード入力」画面です。「postgres」と入力し[Next >]ボタンをクリックします。

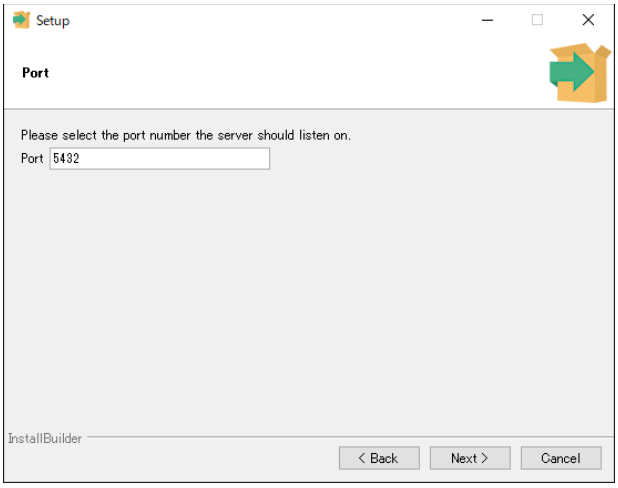
※パスワードの変更が必要な場合は広告取引EDIサポートデスクまでお問い合わせください。





◆「ポート番号設定」画面です。変更せずに[Next >]ボタンをクリックします。

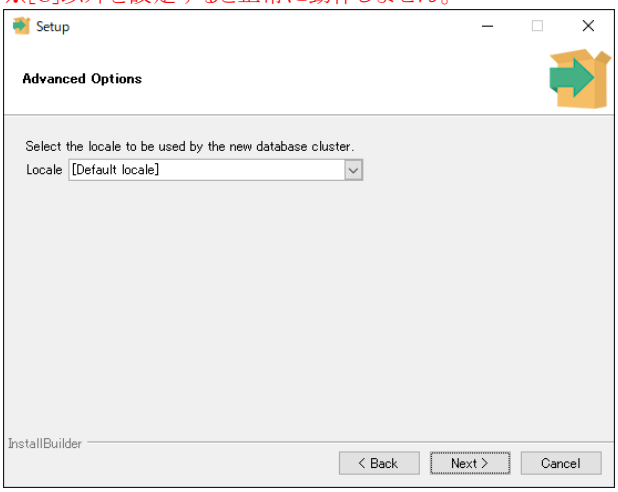
※ポート番号の変更が必要な場合は広告取引EDIサポートデスクまでお問い合わせください。

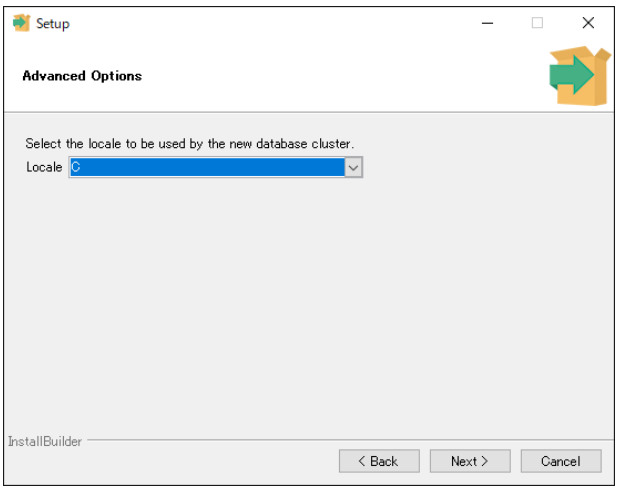


◆「設定情報選択」画面です。

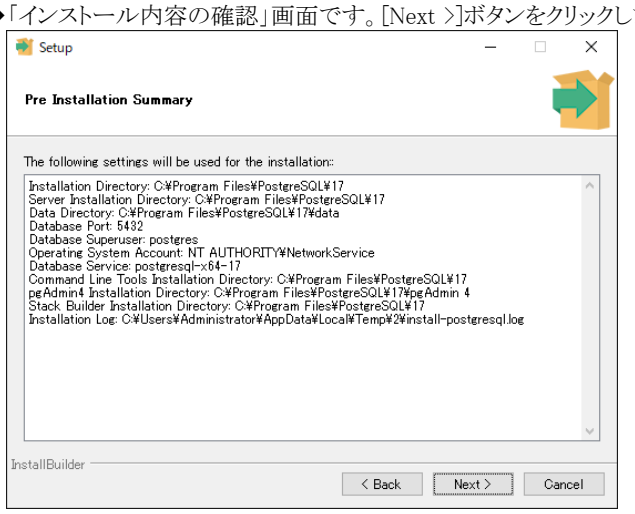
Localeの設定が初期値では［Default locale］となっているので［C］に変更し[Next >]ボタンをクリックします。

※[C]以外を設定すると正常に動作しません。

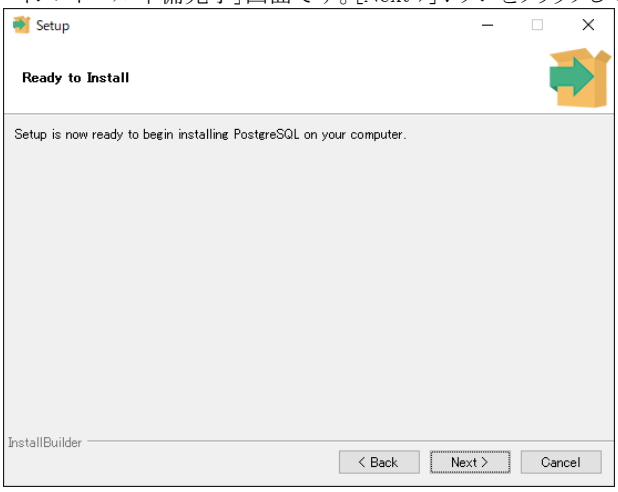




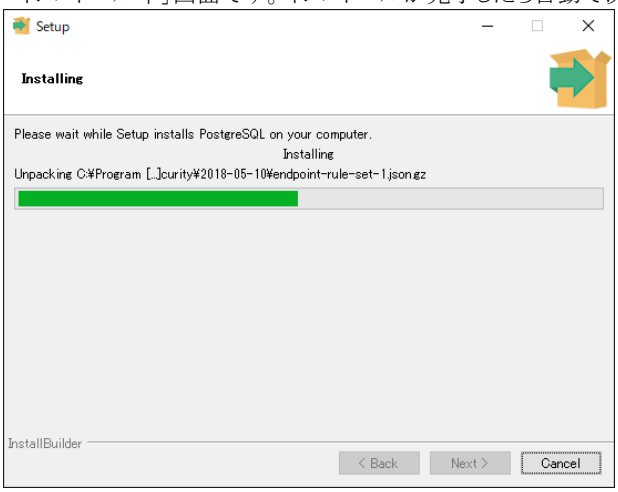
◆「インストール内容の確認」画面です。[Next >]ボタンをクリックします。



◆「インストール準備完了」画面です。[Next >]ボタンをクリックしてインストールを実行します。

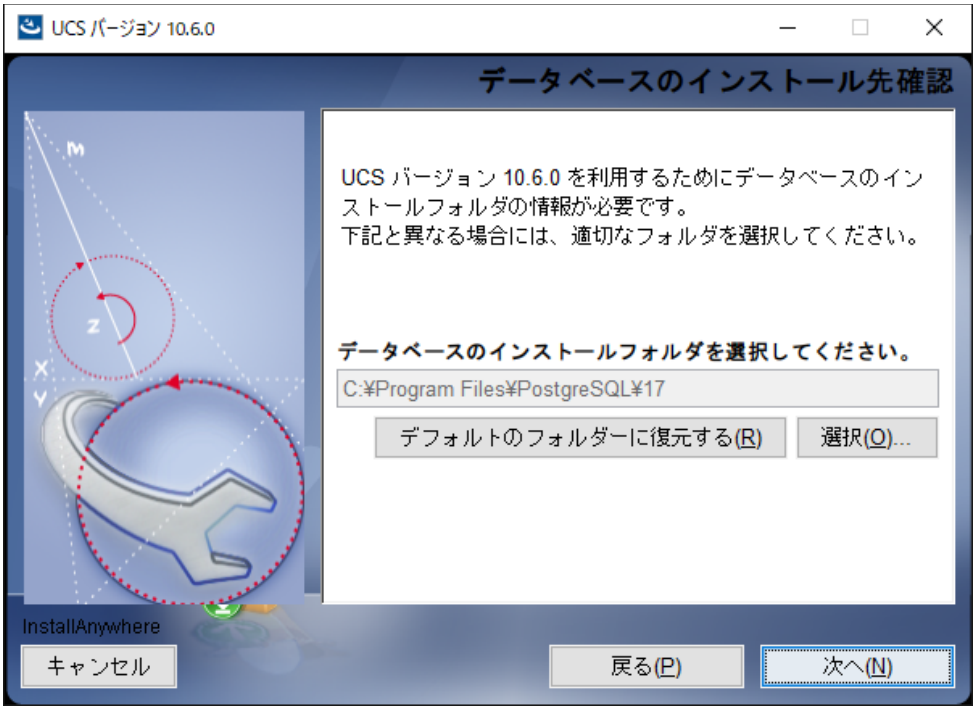


◆「インストール中」画面です。インストールが完了したら自動で次の画面に変わります。



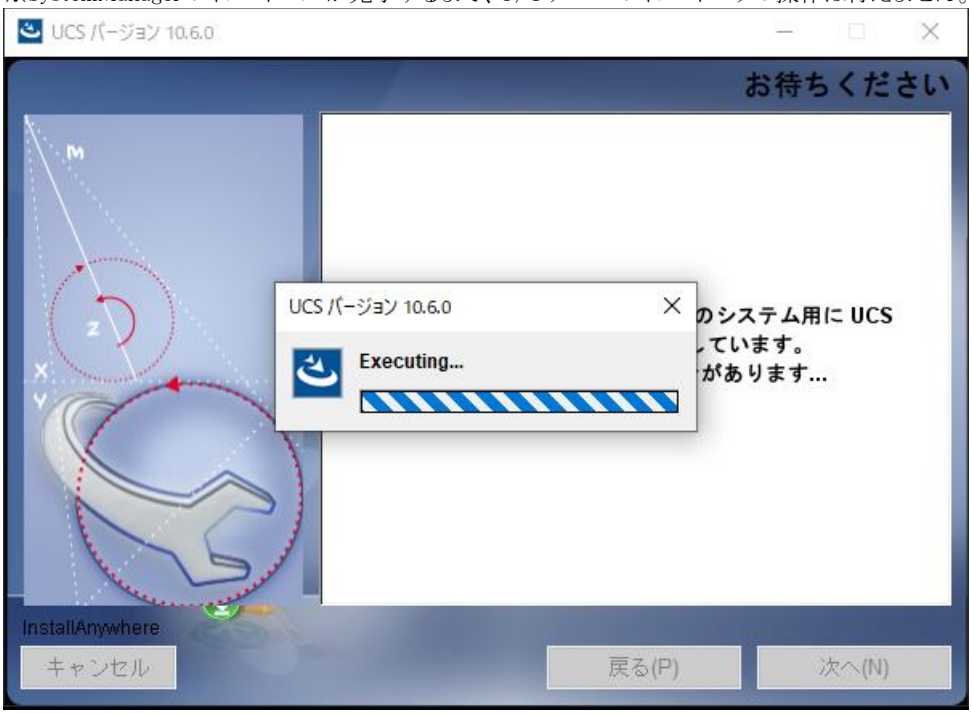
◆「インストール完了」画面です。**チェックボックスのチェックを外し、**[Finish]ボタンをクリックします。
[Finish]ボタンをクリックすると「PostgreSQLのインストール」画面が閉じられ、U/Cサーバのインストーラが「データベースのインストール先確認」画面に変わります。

◆「データベースのインストール先確認」画面です。PostgreSQLのインストール先を変更した場合には、[選択]ボタンからインストール先フォルダを選択して、[次へ]ボタンをクリックします。

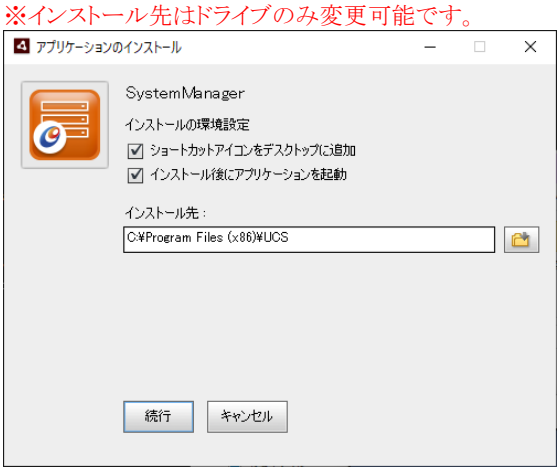


◆「SystemManagerのインストール開始」画面です。[次へ]ボタンをクリックします。

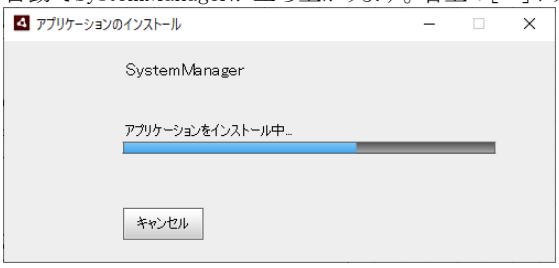
◆「SystemManagerのインストール設定」画面が新規に立ち上がります。
※SystemManagerのインストールが完了するまで、U/Cサーバのインストーラの操作は行えません。



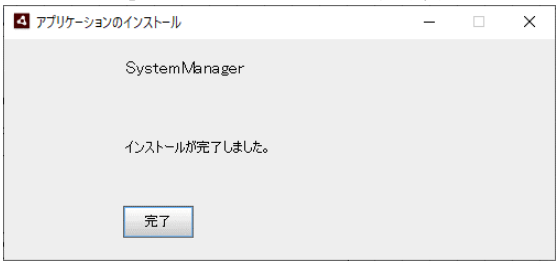
◆「SystemManagerのインストール設定」画面です。
インストール先を選択後、[続行]ボタンをクリックしてインストールを実行します。
※インストール先はドライブのみ変更可能です。



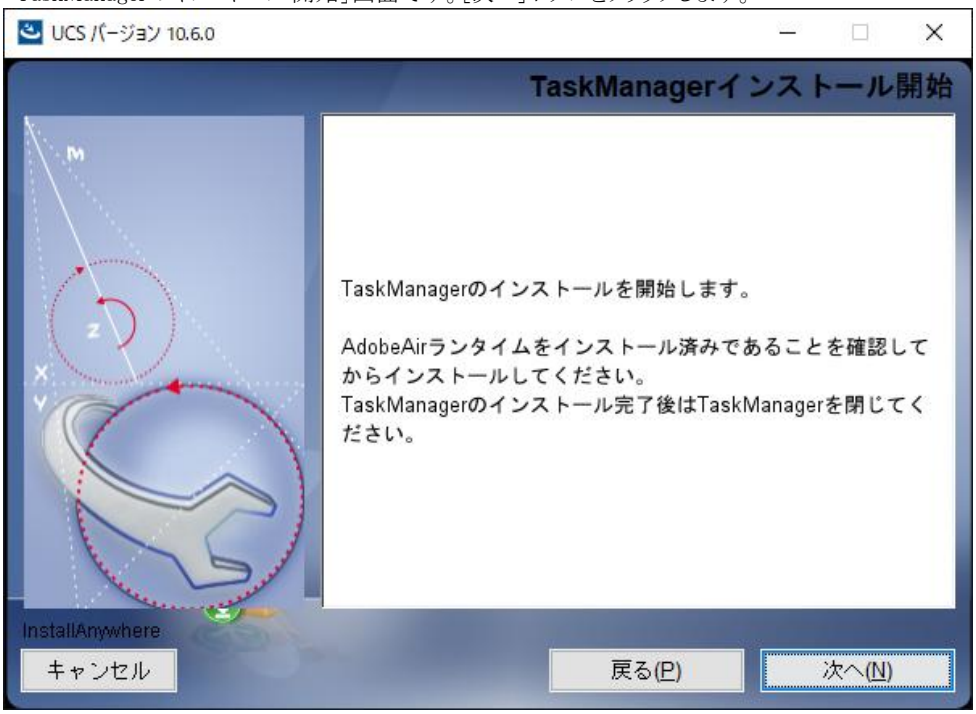
◆「インストール」画面です。インストールが完了すると、自動で「完了」画面になります。
「インストール設定」画面で[インストール後にアプリケーションを起動]にチェックをつけていた場合、インストール完了後、自動でSystemManagerが立ち上がります。右上の[×]ボタンからSystemManagerを終了してください。



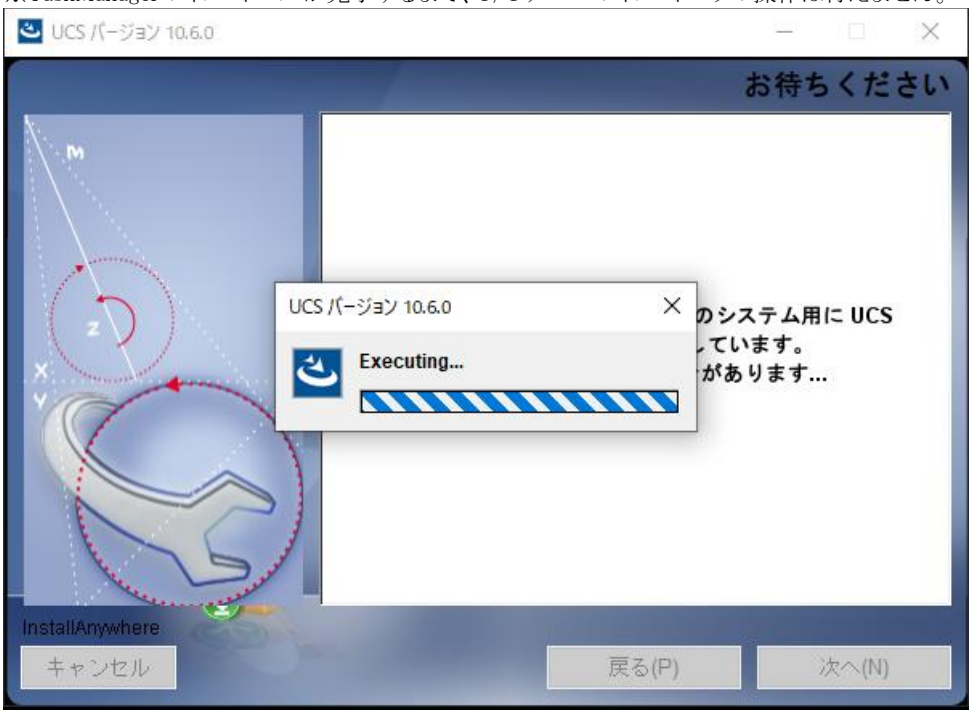
◆「完了」画面です。[完了」をクリックすると、「SystemManagerのインストール」画面が閉じられ、U/Cサーバのインストーラが「TaskManagerのインストール開始」画面に変わります。なお、「インストール設定」画面で[インストール後にアプリケーションを起動]にチェックをつけていた場合、以下画面は表示されません。



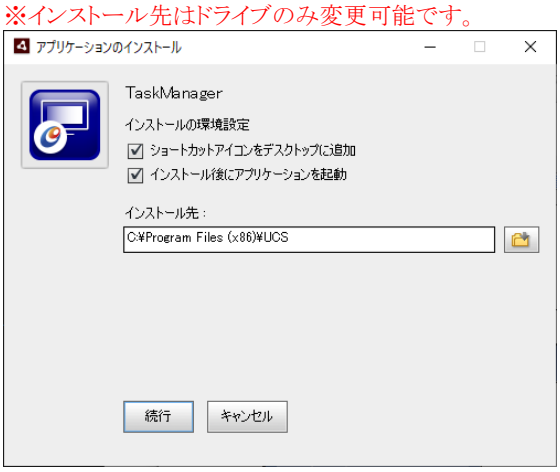
◆「TaskManagerのインストール開始」画面です。[次へ]ボタンをクリックします。



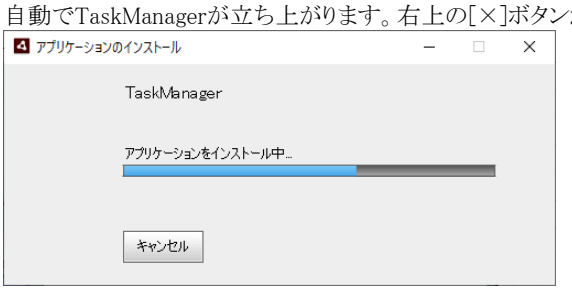
◆「TaskManagerのインストール設定」画面が新規に立ち上がります。
※TaskManagerのインストールが完了するまで、U/Cサーバのインストーラの操作は行えません。



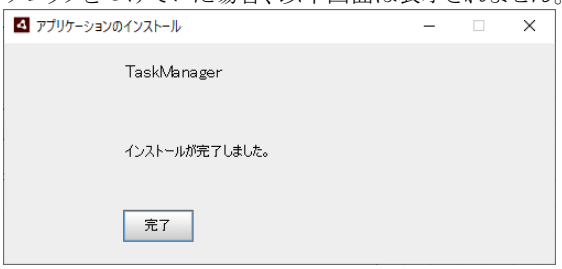
◆「TaskManagerのインストール設定」画面です。
インストール先を選択後、[続行]ボタンをクリックしてインストールを実行します。
※インストール先はドライブのみ変更可能です。



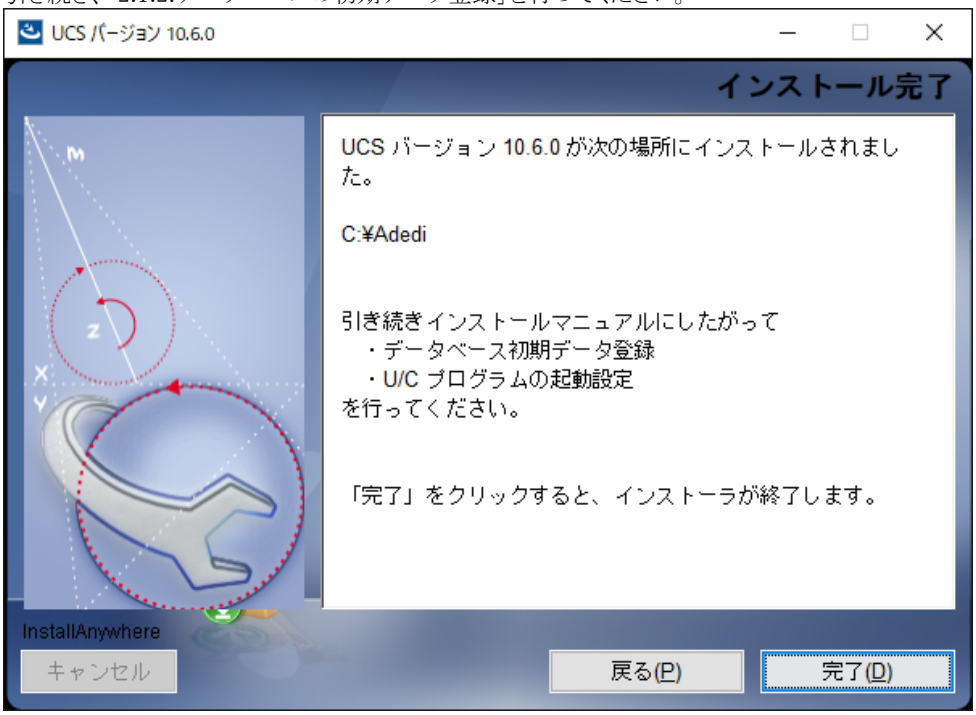
◆「インストール画面」です。インストールが完了すると、自動で「完了」画面になります。
「インストール設定」画面で[インストール後にアプリケーションを起動]にチェックをつけていた場合、インストール完了後、自動でTaskManagerが立ち上がります。右上の[×]ボタンからTaskManagerを終了してください。

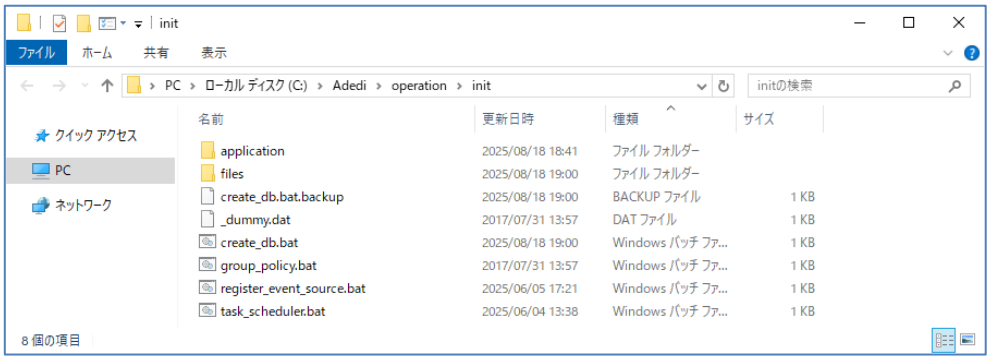


◆「完了」画面です。[完了]をクリックすると、「TaskManagerのインストール」画面が閉じられ、U/Cサーバのインストーラが「インストール完了」画面に変わります。なお、「インストール設定」画面で[インストール後にアプリケーションを起動]にチェックをつけていた場合、以下画面は表示されません。



◆「インストール完了」画面です。[完了]ボタンをクリックするとインストーラが終了し、以降の手順で使用するファイルが置かれたフォルダが自動で開きます。
引き続き、「2.1.2.データベースの初期データ登録」を行ってください。

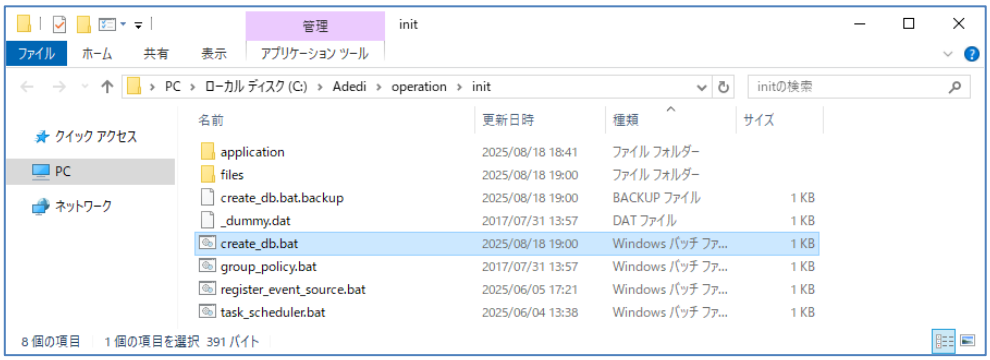




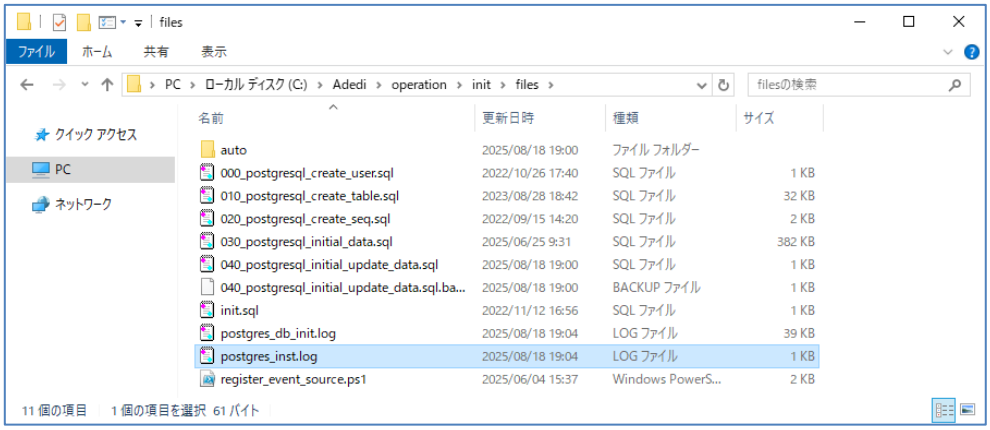
2.1.2. データベースの初期データ登録

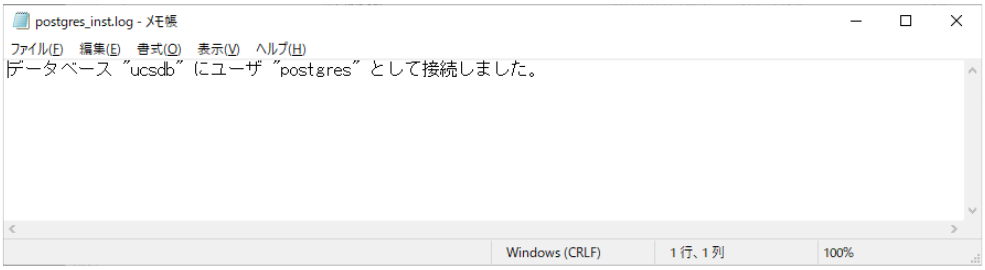
本章では、U/Cサーバが使用するシステム設定値やマスタ情報の初期データをデータベースへ登録します。

◆インストーラ実行完了後に開かれたフォルダ（U/Cインストールフォルダ¥operation¥init¥）にある「create_db.bat」をダブルクリックします。ダブルクリックすると、初期データ登録が開始されます。



◆初期データ登録が完了すると、filesフォルダにログファイル「postgres_inst.log」が作成されます。
ログファイルに「ERROR」という文字列が出力されていないことを確認してください。
※「ERROR」が出力されていた場合は、広告取引EDIサポートデスクまでお問い合わせください。

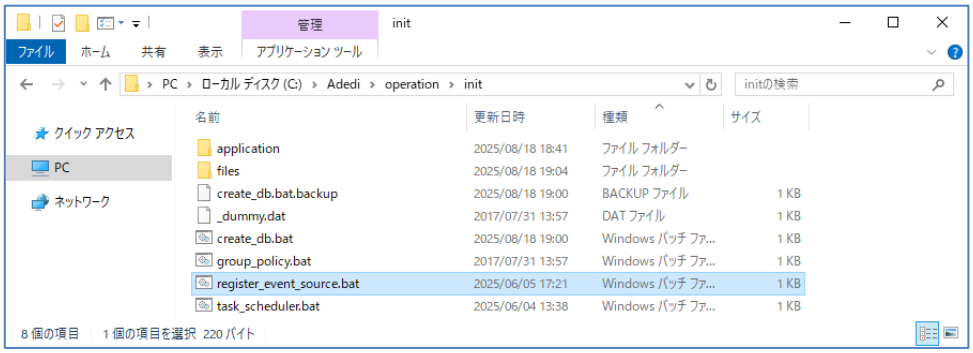


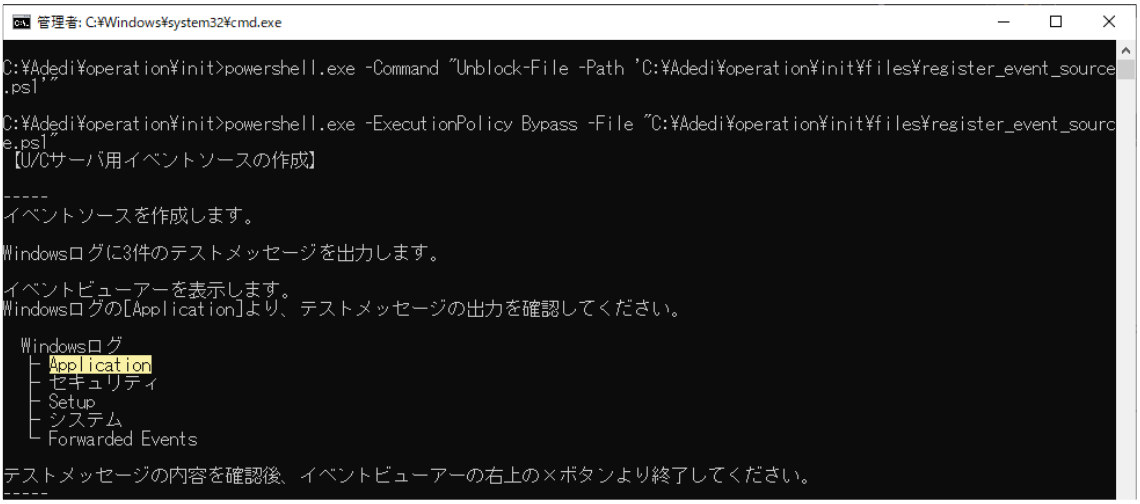


2.1.3. イベントソースの作成

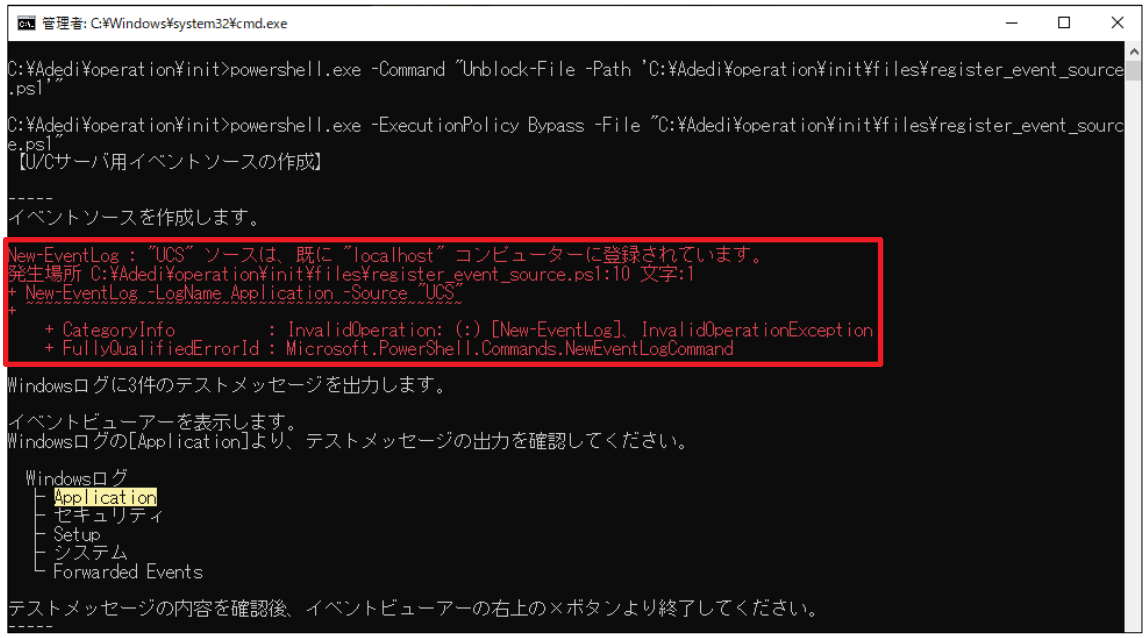
本章では、U/Cサーバがイベントログを出力するために必要なイベントソースを作成します。

◆インストーラ実行完了後に開かれたフォルダ（U/Cインストールフォルダ¥operation¥init¥）にある「register_event_source.bat」をダブルクリックします。イベントソースの作成後、イベントビューアーが起動します。イベントビューアーの起動にはしばらく時間がかかります。

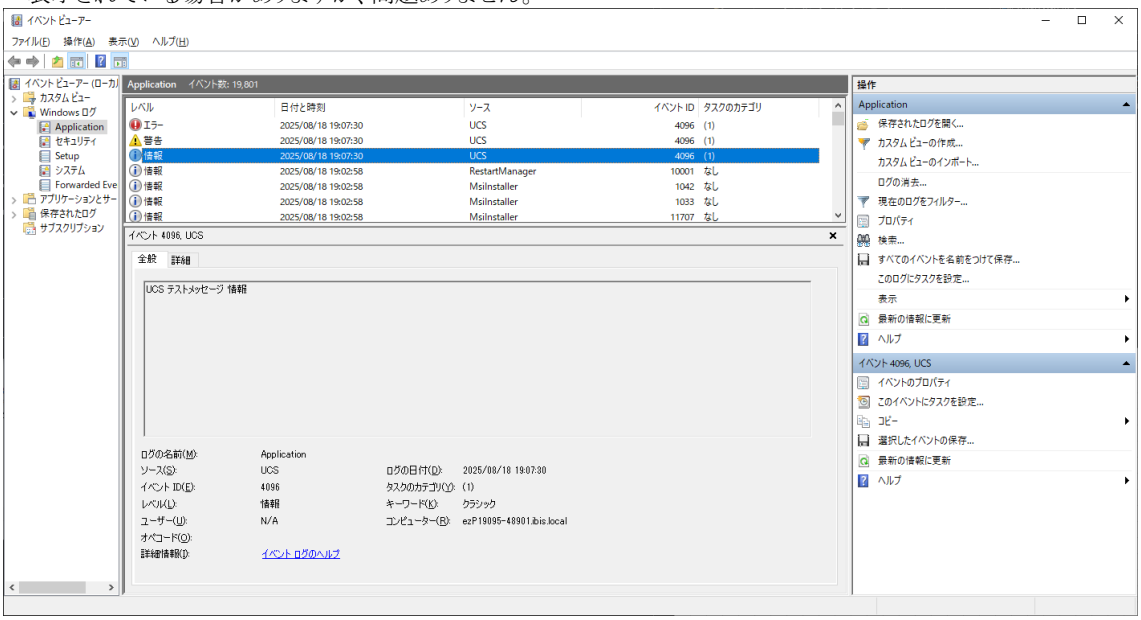


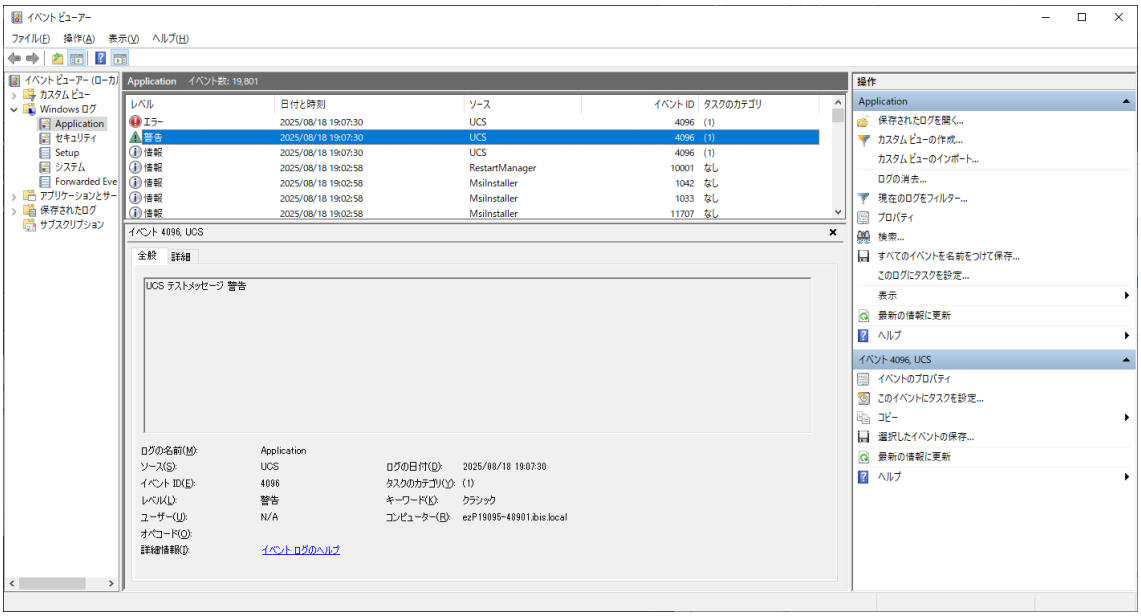


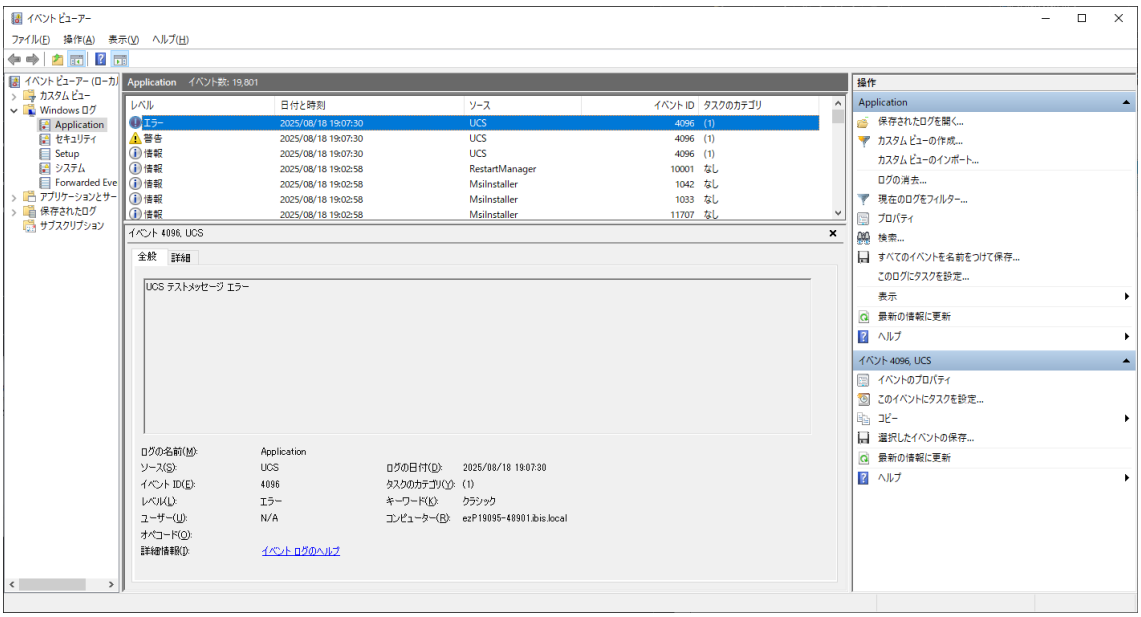
※対象のイベントソースが既に登録されている場合に以下のメッセージが表示されますが、問題ありません。



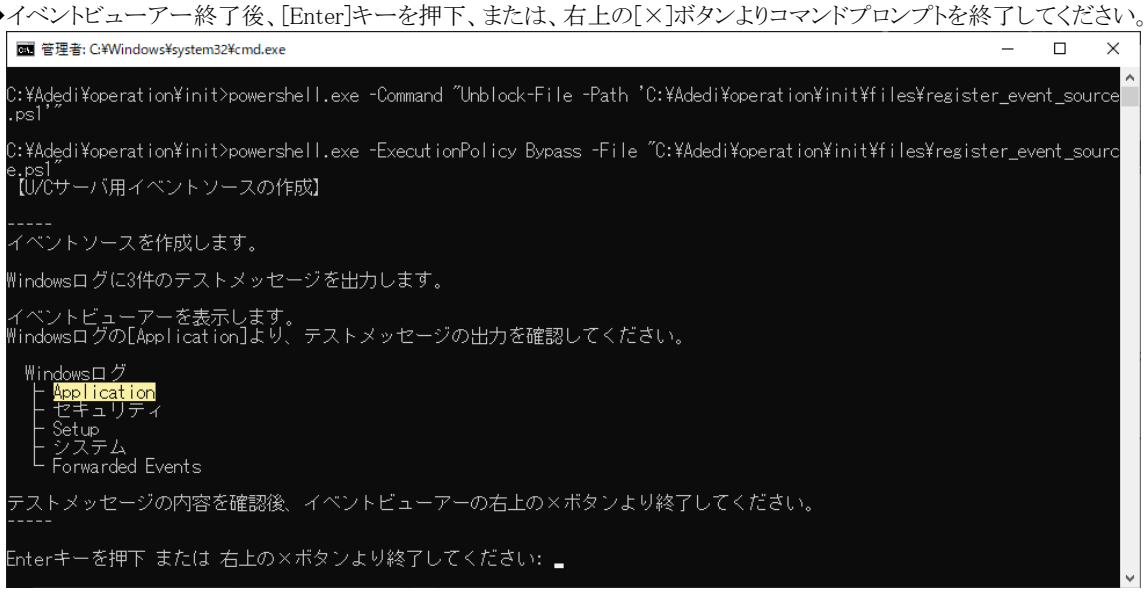
◆「Windowsログ」＞「Application」をクリックします。レベルが「情報」「警告」「エラー」の3つのテストメッセージが出力されていることを確認します。テストメッセージの確認後、右上の[×]ボタンよりイベントビューアーを終了してください。
※テストメッセージの他に、「ソース ″UCS″ からのイベント ID 4096 の説明が見つかりません。」というメッセージが表示されている場合がありますが、問題ありません。







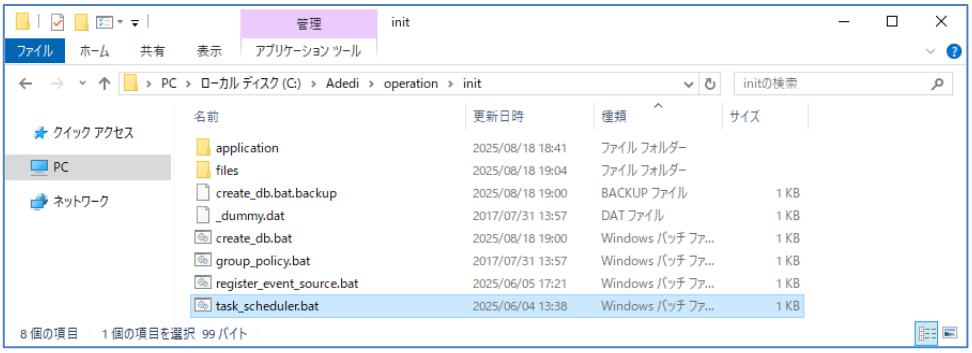
◆イベントビューアー終了後、[Enter]キーを押下、または、右上の[×]ボタンよりコマンドプロンプトを終了してください。



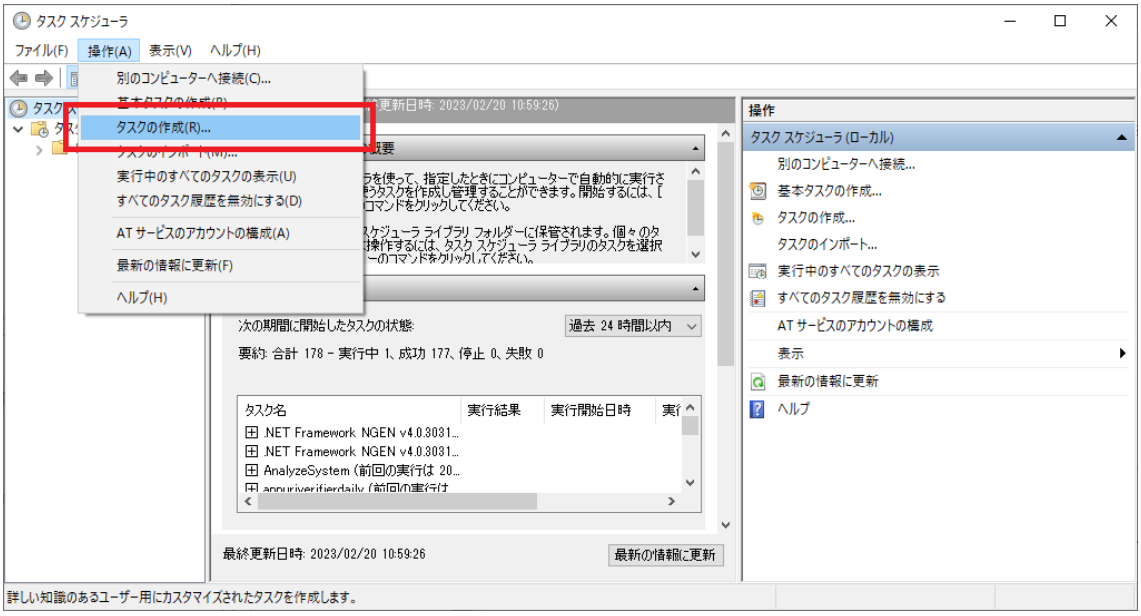
2.1.4. U/Cサーバの起動設定

本章では、U/Cサーバの自動起動設定をタスクスケジューラにより登録します。

◆インストーラ実行完了後に開かれたフォルダにある「task_scheduler.bat」をダブルクリックし、タスクスケジューラを起動します。タスクスケジューラの起動にはしばらく時間がかかります。



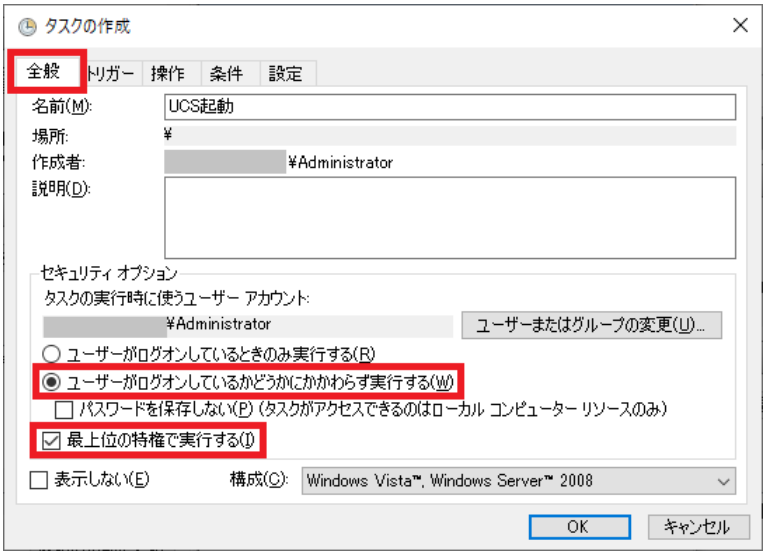
◆ツールバーの「操作」>「タスクの作成」をクリックします。



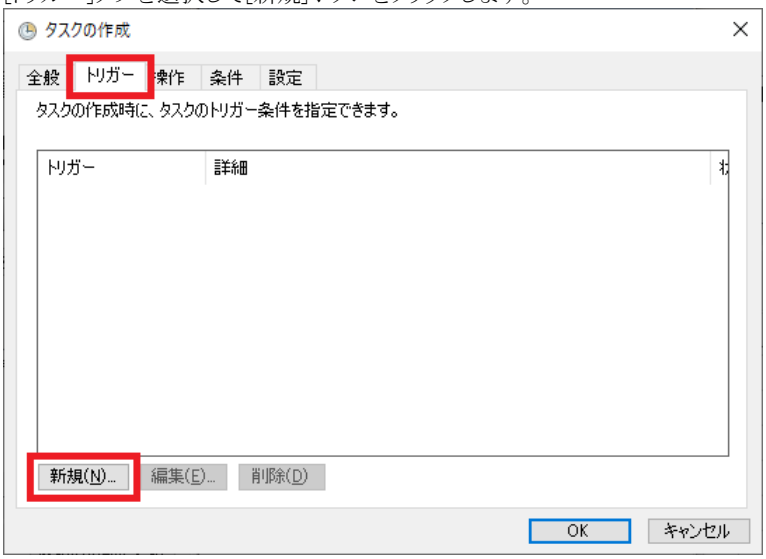
◆[全般]タブで以下の設定を行います。

表 2-1 タスクの設定値

項目名	設定値
名前	任意の名前を入力。（例:UCS起動）
セキュリティオプション	「ユーザがログインしているかどうかにかかわらず実行する」を選択。 「最上位の特権で実行する」にチェックを付ける。



◆[トリガー]タブを選択して[新規]ボタンをクリックします。

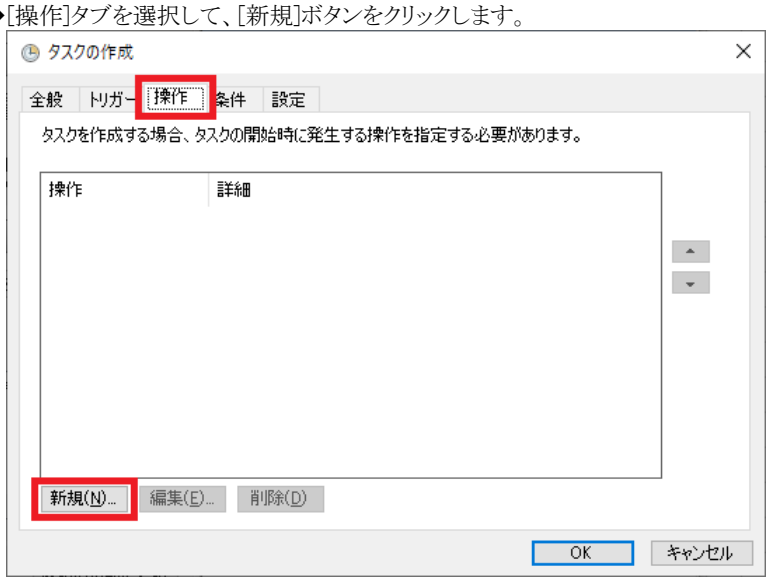


◆「新しいトリガー」画面で以下の設定を行います。設定後に[OK]ボタンをクリックしてください。

表 2-2 トリガーの設定値

項目名	設定値
タスクの開始	「スタートアップ時」を選択。
詳細設定	「遅延時間を指定する」にチェックを付け、任意の時間を設定。 ※OS起動後にU/Cサーバを起動するまでの時間を設定します。 5～10分を目安に設定してください。

◆[操作]タブを選択して、[新規]ボタンをクリックします。

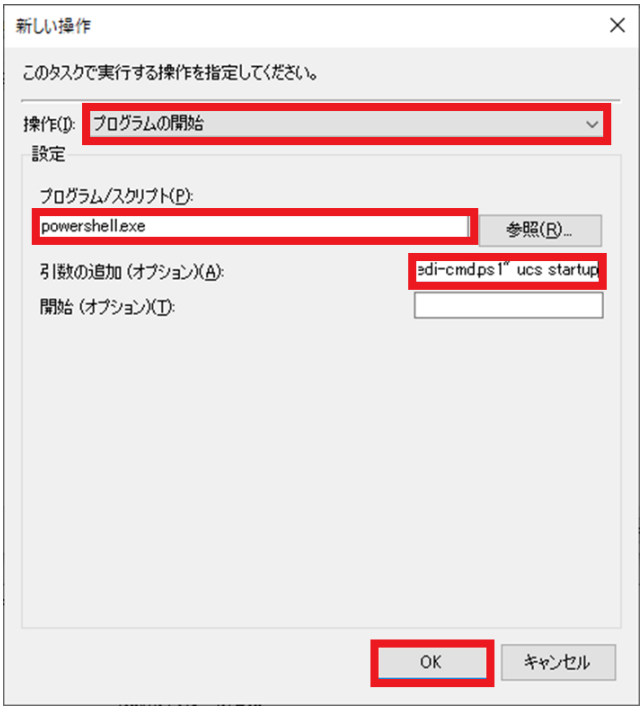


◆「新しい操作」画面で実行する操作を設定します。Windows PowerShell の使用可否に応じて設定内容が異なりますので、お客様の環境に合わせて設定してください。

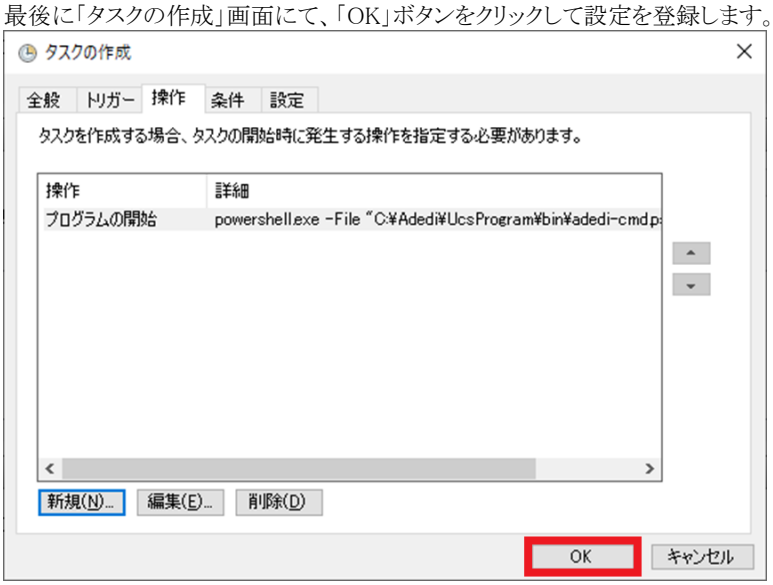
①Windows PowerShell が使用できる場合
以下の設定を行います。設定後、[OK]ボタンをクリックしてください。

表 2-3 操作の設定値(adedi-cmd.ps1)

項目名	設定値
操作	「プログラムの開始」を選択。
プログラム/スクリプト	「powershell.exe」と入力。
引数の追加(オプション)	「-File ″(U/Cインストールフォルダ)¥UcsProgram¥bin¥adedi-cmd.ps1″ ucs startup」と入力。 ※U/Cサーバをデフォルトの「C:¥Adedi」にインストールした場合、 「-File ″C:¥Adedi¥UcsProgram¥bin¥adedi-cmd.ps1″ ucs startup」と入力。



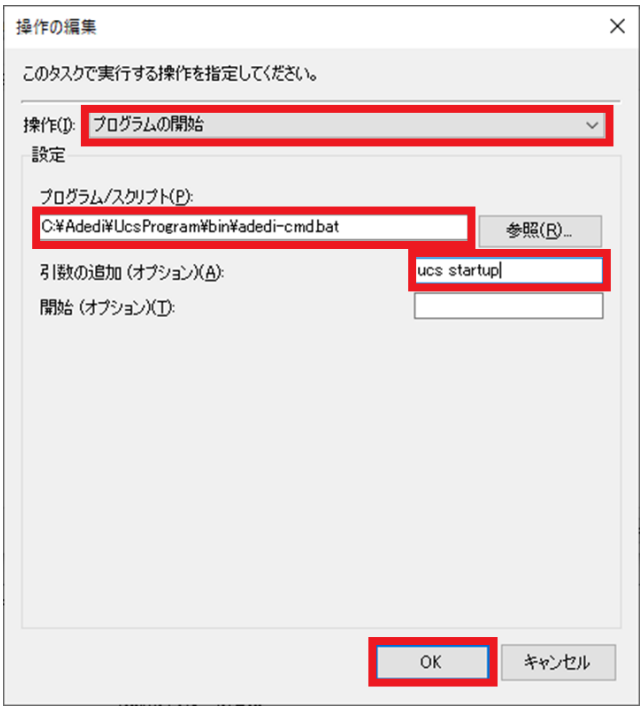
最後に「タスクの作成」画面にて、「OK」ボタンをクリックして設定を登録します。



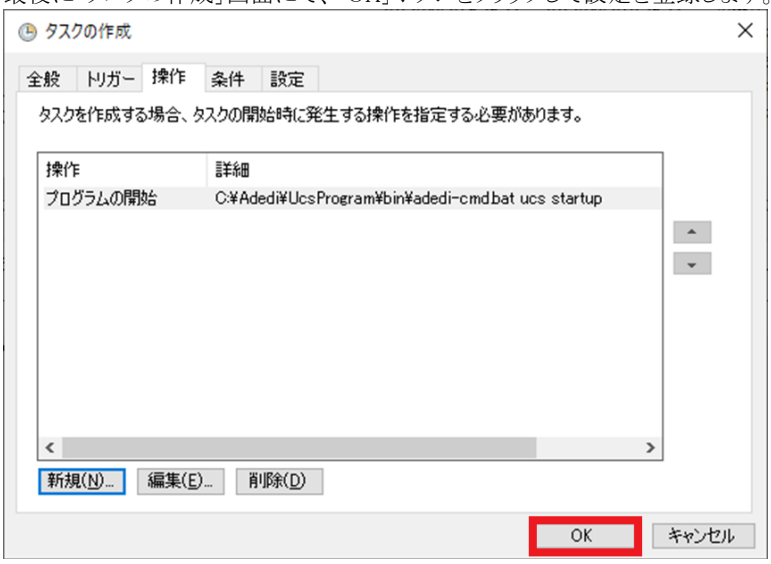
②Windows PowerShell が使用できない場合
以下の設定を行います。設定後、[OK]ボタンをクリックしてください。

表 2-4 操作の設定値(adedi-cmd.bat)

項目名	設定値
操作	「プログラムの開始」を選択。
プログラム/スクリプト	「(U/Cインストールフォルダ)¥UcsProgram¥bin¥adedi-cmd.bat」と入力。 ※U/Cサーバをデフォルトの「C:¥Adedi」にインストールした場合、 「C:¥Adedi¥UcsProgram¥bin¥adedi-cmd.bat」と入力。
引数の追加(オプション)	「ucs startup」と入力。



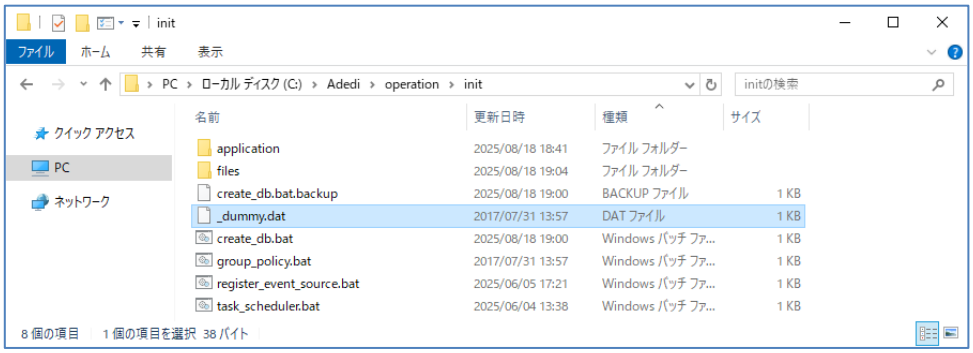
最後に「タスクの作成」画面にて、「OK」ボタンをクリックして設定を登録します。



2.1.5. アプリケーションの関連付け

U/CサーバではTaskManagerよりDATファイルを開くためにメモ帳を利用します。そのため、本章によって拡張子の関連付けを行います。

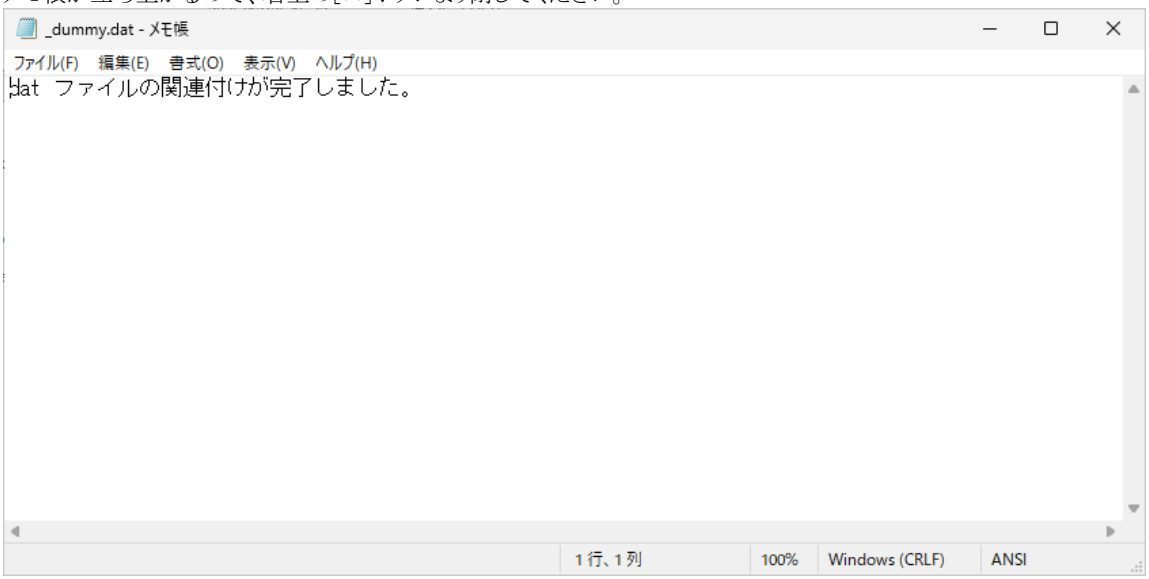
◆インストーラ実行完了後に開かれたフォルダ（U/Cインストールフォルダ¥operation¥init¥）にあるファイル「_dummy.dat」をダブルクリックします。



◆「このPCのアプリで開く」をクリックします。

◆「ファイルを開くプログラムの選択」画面が表示されるので、「メモ帳」を選択します。
［常に使う］ボタンをクリックします。
※「メモ帳」以外でも、テキストファイルが取り扱い可能な任意のエディタをご利用できます。

◆メモ帳が立ち上がるので、右上の[×]ボタンより閉じてください。



2.1.6. OSの再起動(U/Cサーバの起動)

これまでの手順を実行後、OSの再起動を実施してください。OS再起動後、U/Cサーバが起動し利用可能となります。

2.2. その他設定手順

本章では、任意の設定手順を説明します。必要に応じて、各種設定を行ってください。

2.2.1. ポートの使用許可設定(Windowsファイアウォール)

U/Cサーバでは以下の通信ポートを使用します。Windowsファイアウォール等でポートの制限を行っている場合にはポートの使用を許可してください。Windowsファイアウォールにおけるポートの使用許可設定は、「付録A. Windowsファイアウォール設定手順」を参照してください。

表 2-5 U/Cサーバで使用する通信ポート

ポート番号	用途
443	U/Cサーバより広告取引EDIシステムへインターネット接続(TLS通信)でデータを送受信する際に使用します。(※本ポートのみ外部への接続に利用します)
8080	クライアント画面よりU/Cサーバへの接続に使用します。
8005	クライアント画面で利用しているWebサーバを停止する際に使用します。
5432	PostgreSQLで使用します。
4561	U/Cサーバからログを出力するために使用します。
6520	UCControllerを停止する際に使用します。
6521	ScheduleControllerで使用します。

2.2.2. SystemManager、TaskManagerの別端末へのインストール

U/Cサーバをインストールした端末以外から、SystemManager、およびTaskManagerを通して、スケジュール登録やデータ送受信の状況確認などを実施いただくことが可能です。別端末から操作を行いたい場合、以下の手順に沿ってSystemManager、およびTaskManagerのインストールを実施してください。

※ U/Cサーバのインストール後に実施してください。

※ 別端末から操作を行う必要がないお客様は実施不要です。

1. はじめに、別端末にAdobe AIR ランタイムをインストールしてください。
   - Adobe AIR ランタイム(https://airsdk.harman.com/runtime/ にて無料配布)
     上記URLより「AIR runtime」の最新版をダウンロードし、インストールしてください。

2. U/Cサーバをインストールした端末から、SystemManager、およびTaskManagerのインストーラを以下のファイルパスから取得し、別端末にコピーしてください。コピーする場所は任意です。
   - SystemManager
     (U/Cインストールフォルダ)¥operation¥init¥application¥SystemManager.exe
   - TaskManager
     (U/Cインストールフォルダ)¥operation¥init¥application¥TaskManager.exe

3. 別端末にコピーしたSystemManagerおよびTaskManagerのインストーラをそれぞれダブルクリックで実行します。画面に従ってインストールを実施してください。

4. インストール完了後、SystemManagerおよびTaskManagerの接続先を設定してください。
   「UCサーバ10.6.0 オペレーションマニュアル」の「3.3. SystemManagerの接続先設定」を参照して、接続先を設定します。ここで「接続先ホスト」には以下内容を指定してください。

U/CサーバをインストールしたWindows ServerのIPアドレス:8080

3.　U/Cサーバのアンインストール

本章ではU/Cサーバのアンインストール手順を説明します。
アンインストールは次の順番で実施します。

1. SystemManagerのアンインストール
2. TaskManagerのアンインストール
3. PostgreSQLのアンインストール
4. 広告EDI UCSのアンインストール
5. システム環境変数の削除
6. U/Cサーバ起動設定の削除
7. データベースのデータの削除
8. U/Cインストールフォルダを削除
9. ポートの使用許可設定（Windowsファイアウォール）の削除

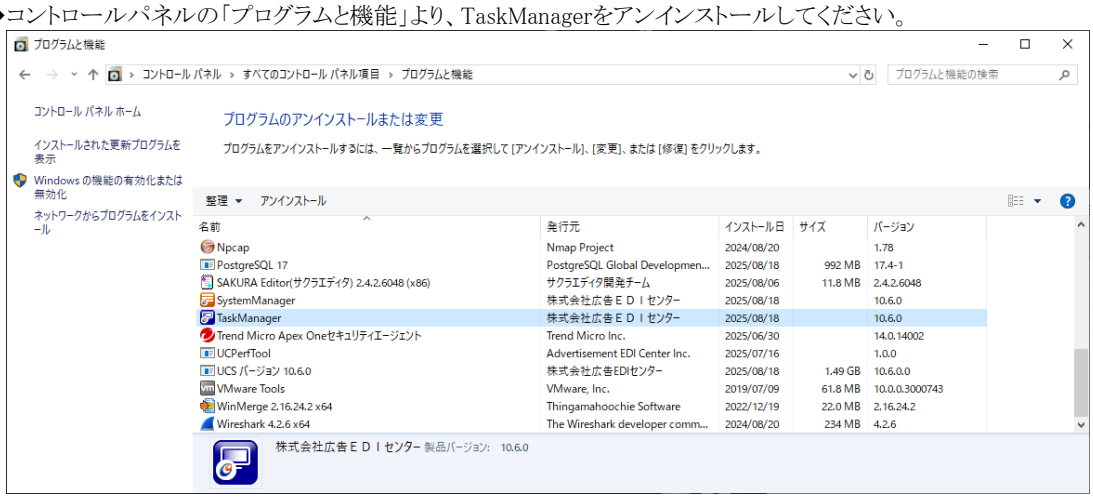
3.1. アンインストール手順

3.1.1.　SystemManagerのアンインストール

◆コントロールパネルの「プログラムと機能」より、SystemManagerをアンインストールしてください。

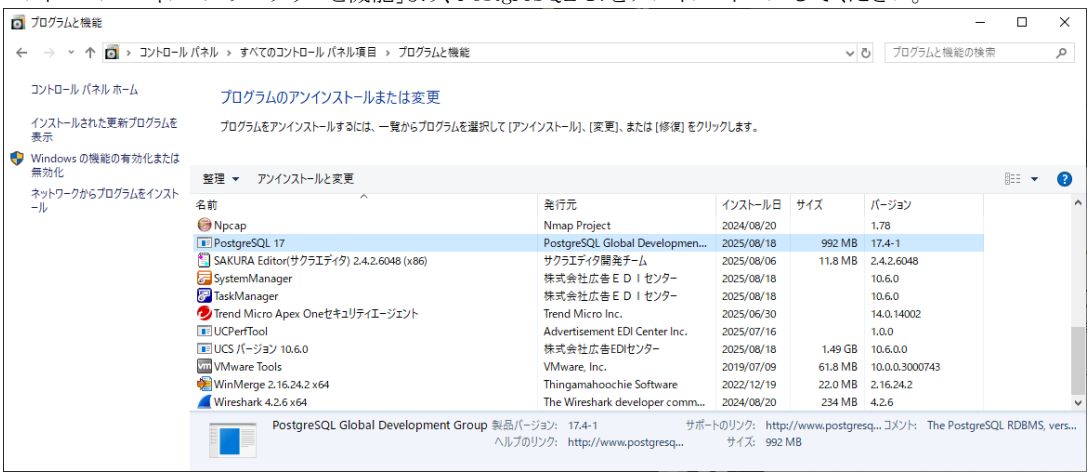
3.1.2.　TaskManagerのアンインストール

◆コントロールパネルの「プログラムと機能」より、TaskManagerをアンインストールしてください。

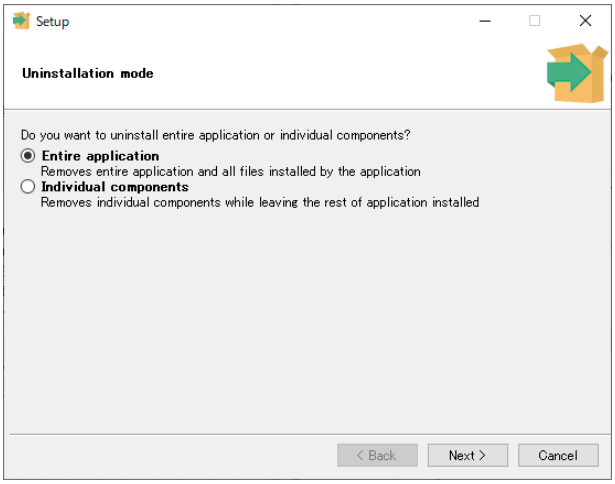


3.1.3. PostgreSQLのアンインストール

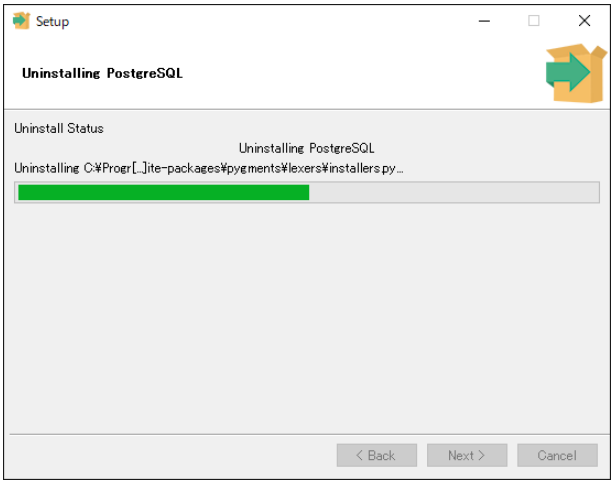
◆コントロールパネルの「プログラムと機能」より、PostgreSQL 17をアンインストールしてください。



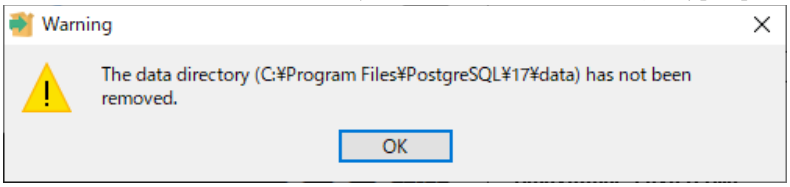
◆「アンインストール対象の選択」画面です。変更せずに[Next >]ボタンをクリックします。



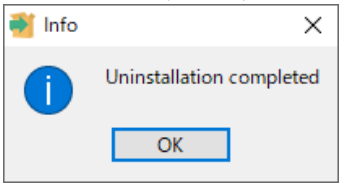
◆「アンインストール中」画面です。アンインストールが完了したら自動で画面が閉じます。



◆データフォルダが削除できなかった旨のメッセージが表示されますが、[OK]ボタンをクリックしてください。



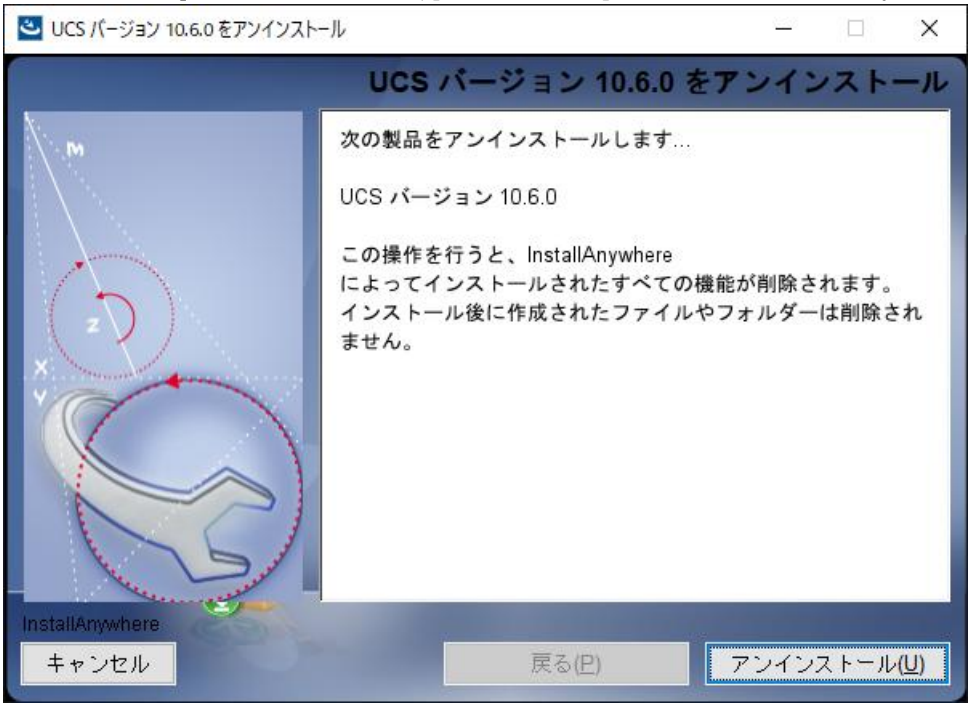
◆アンインストール完了の旨のメッセージが表示されます。[OK]ボタンをクリックしてください。



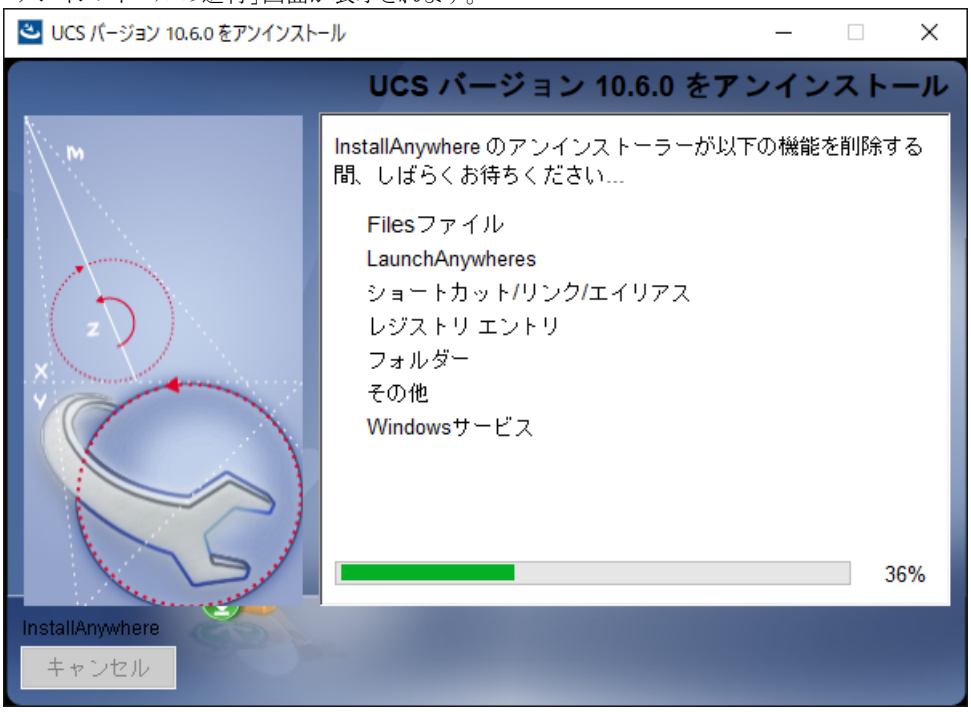
3.1.4. 広告EDI UCSのアンインストール

◆コントロールパネルの「プログラムと機能」より、広告EDI UCSをアンインストールしてください。

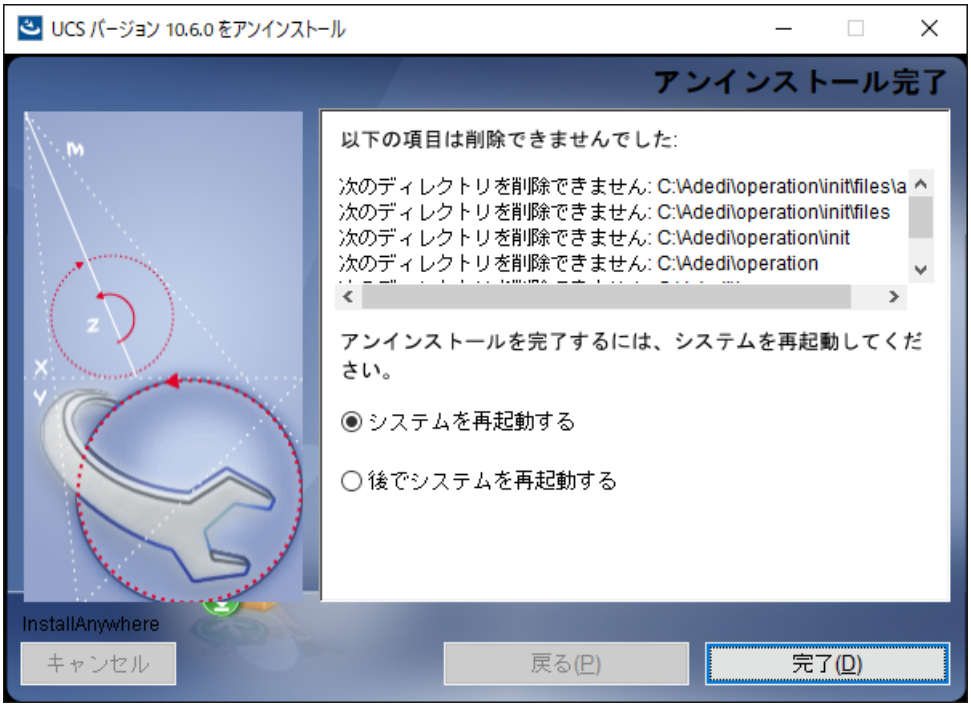
◆「アンインストール」画面が表示されるので、[アンインストール]ボタンをクリックしてください。



◆「アンインストールの進行」画面が表示されます。



◆自動でアンインストールは進み、「アンインストール完了」画面が表示されます。
[システムを再起動する]を選択し、[完了]ボタンをクリックしてください。OSの再起動が行われます。
なお、複数のフォルダが削除できなかった旨のメッセージが表示されますが、「3.1.8.U/Cインストールフォルダの削除」にて削除しますので、次の手順へお進みください。



[完了]ボタンをクリックすると、アンインストールが終了します。

3.1.5. システム環境変数の削除

U/Cサーバのインストールによって、以下の情報がシステム環境変数に登録されています。

必要に応じ「表 3-1 システム環境変数 登録内容」の内容を削除してください。システム環境変数の設定は、コントロールパネルのシステムより、システムの詳細設定を開くことで確認できます。

表 3-1 システム環境変数 登録内容

変数	値	説明
Path	PostgreSQLインストールフォルダ¥bin	インストール時に既存の変数Pathの末尾に値が追加されます。
POSTGRESQL	PostgreSQLインストールフォルダ	インストール時に新規作成される変数です。
UCS_HOME	U/Cサーバインストールフォルダ	インストール時に新規作成される変数です。

3.1.6. U/Cサーバの起動設定の削除

「2.1.4.U/Cサーバの起動設定」において追加した設定は自動で削除されません。タスクスケジューラより登録した設定を削除してください。

3.1.7. データベースのデータの削除

PostgreSQLをインストールしたフォルダ（初期値ではC:¥Program Files¥PostgreSQL¥17¥）に「data」というフォルダが残っています。インストールフォルダごと手動で削除してください。

3.1.8. U/Cインストールフォルダの削除

U/Cサーバをインストールしたフォルダ（初期値ではC:¥Adedi¥）にユーザ情報やログなどが残っています。インストールフォルダごと手動で削除してください。

3.1.9. ポートの使用許可設定（Windowsファイアウォール）の削除

「2.2.1.ポートの使用許可設定（Windowsファイアウォール）」において追加した設定は自動で削除されません。「Windowsファイアウォール」画面より手動で追加した設定を削除してください。

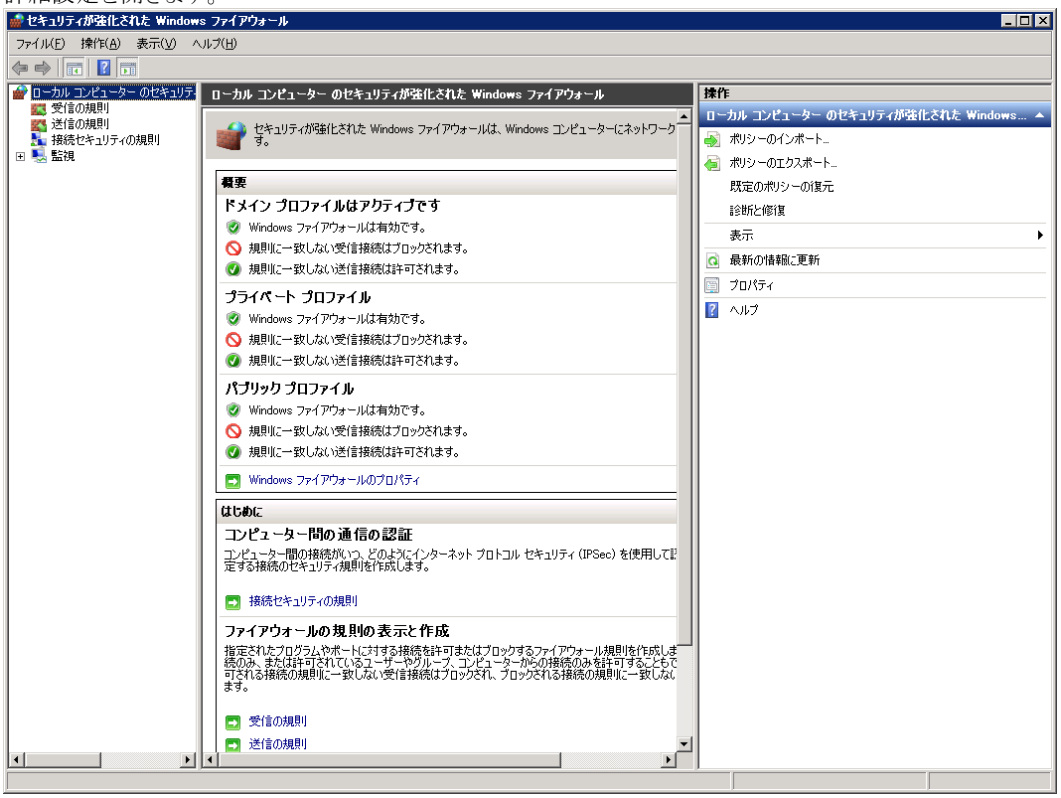
※ ポートの使用許可設定を行っていないお客様は実施不要です。

付録

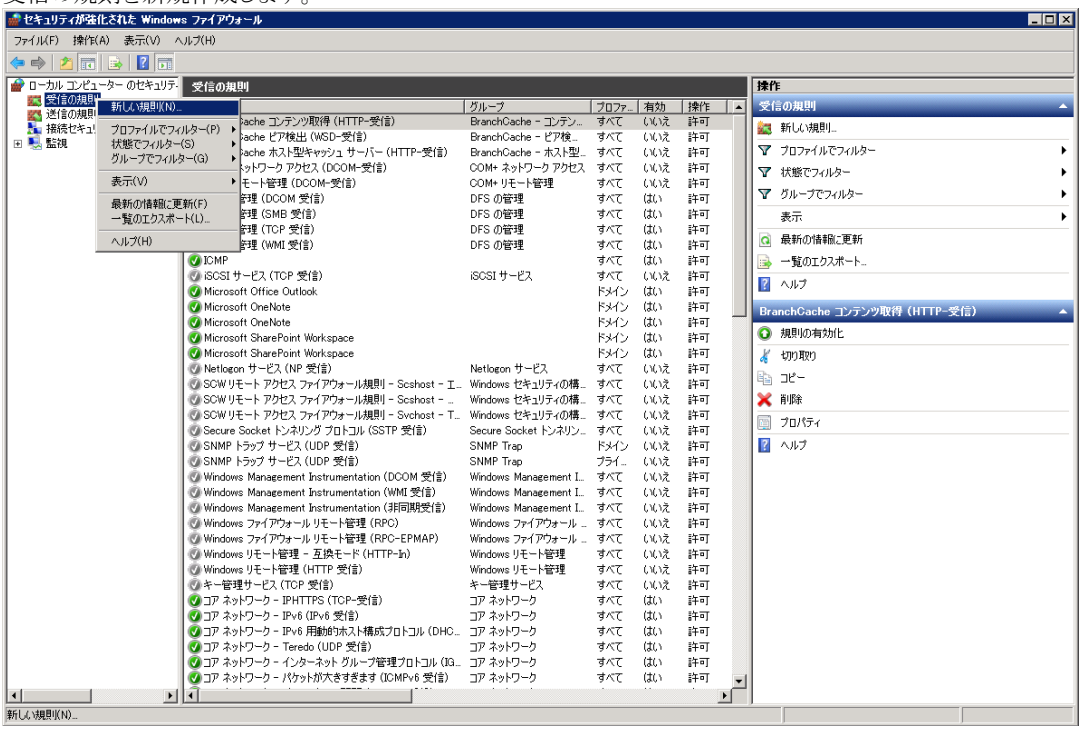
付録A. Windowsファイアウォール設定手順

◆Windowsコントロールパネルより、Windows ファイアウォールを開きます。

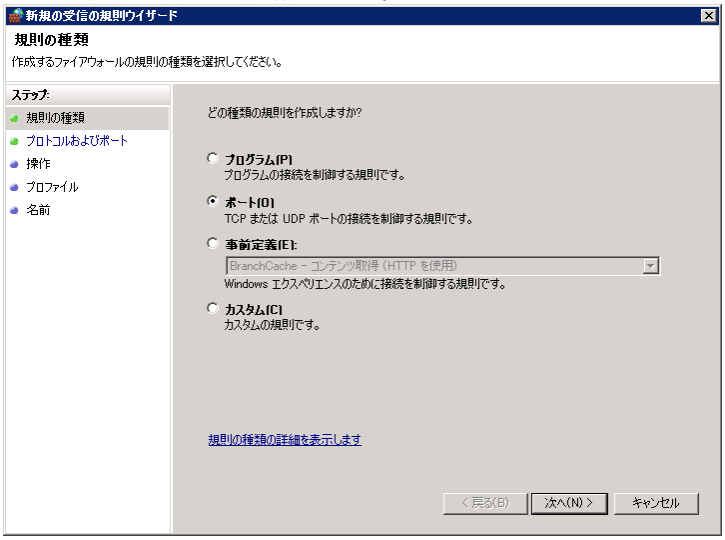
◆詳細設定を開きます。



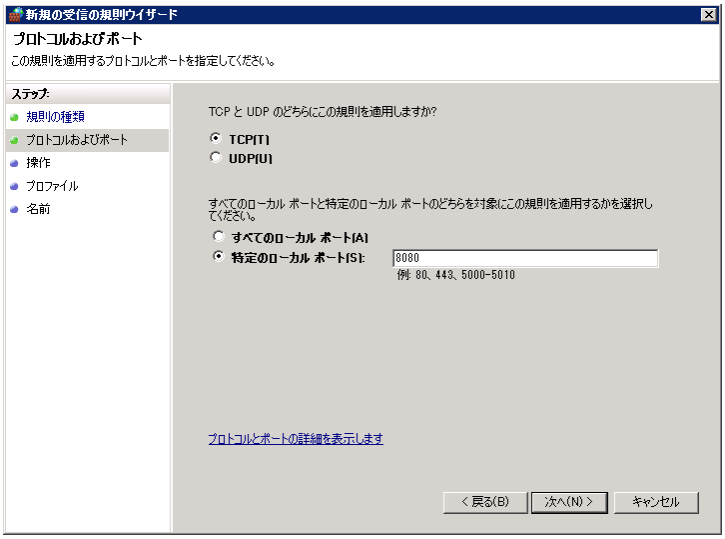
◆受信の規則を新規作成します。



◆ポートに関する規則を新規作成します。

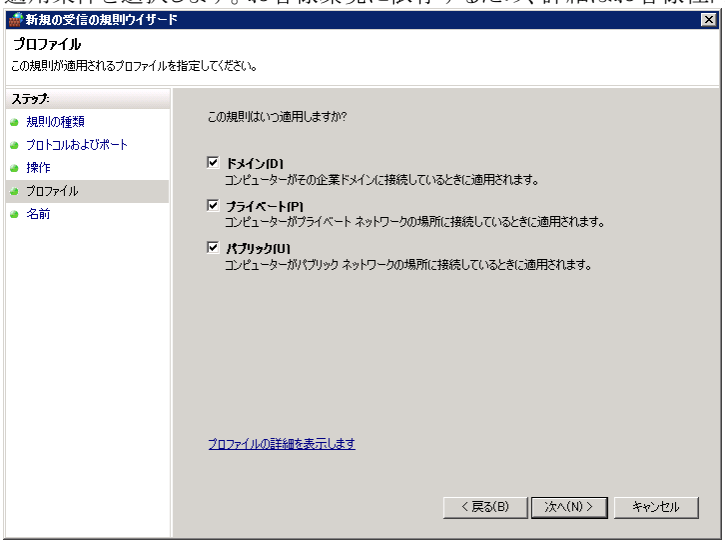


◆特定のローカルポートとして、U/Cサーバで使用するポート番号を入力します。
「表 2-5 U/Cサーバで使用する通信ポート」を参照し登録してください。

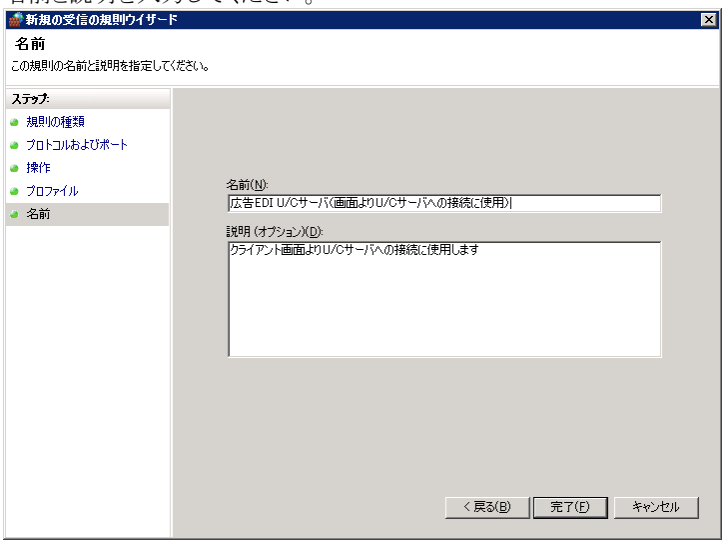


◆「接続を許可する」を選択してください。

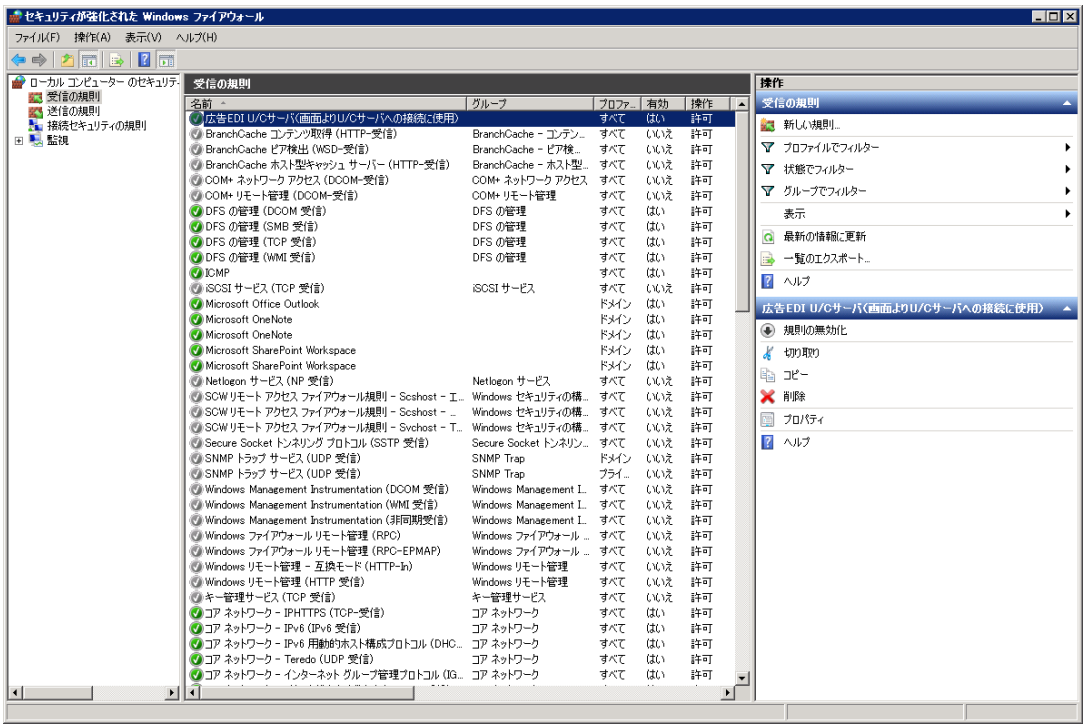
◆適用条件を選択します。お客様環境に依存するため、詳細はお客様社内ネットワークのご担当者様にご確認ください。



◆名前と説明を入力してください。



完了をクリックすると登録されます。



登録内容が画面に表示されることを確認してください。